

帝国書院の新しい教科書の情報が詰まった  
**中学校 社会科Webのご案内**

中学校 社会科  
**Webも**  
 ご覧ください



令和3年度版  
**内容解説資料**

本資料は、一般社団法人教科書協会  
 「教科書発行者行動規範」に則っております。

この部分が  
**大判化**



中学校 社会科Webは  
 こちら



※左の二次元コードのほか、弊社ホームページならびに  
 下記URLからご覧いただけます。

**帝国書院** 検索

<https://www.teikokushoin.co.jp/jhs2020/index.html>

帝国書院 中学校 社会科Web

令和3年度版 中学校社会科  
**教科書のご案内**

サポート体制のご案内

中学校社会科地図  
 特色を見る

中学生の地理  
 社会科  
**中学生の地理**  
 特色を見る

中学生の歴史  
 社会科  
**中学生の歴史**  
 特色を見る

中学生の公民  
 社会科  
**中学生の公民**  
 特色を見る

デジタル教科書・教材のご案内

令和3年度版  
**教科書のご案内**  
 おもな内容

- 内容解説資料 (PDF/電子ブック)
- 編修趣意書 (PDF)
- 検討の観点から見た内容の特色 (PDF/Excel)
- 「地図活用」指導ポイント一覧 (PDF)
- 5大特色の紹介
- 二次元コードの内容紹介 など

デジタル教科書・  
 教材のご案内  
 おもな内容

- Web体験版
- 特色紹介 (動画)
- デジタル教科書・  
 教材パンフレット (PDF)
- ラインナップ紹介
- 動作環境 など

サポート体制のご案内  
 おもな内容

- 教師用指導書のご案内 (PDF)
- 新学習指導要領関連資料
- 学習評価に関する資料
- 地図帳活用ワークシート
- 特別支援教育対応地図帳 など

※上記内容は掲載される時期が異なる場合があります。また、一部内容が変わる場合があります。  
 ※本資料に掲載している教科書紙面は、見本本と一部内容が異なる場合があります。

令和3年度版 **内容解説資料** 部分サンプル

本資料は、環境にやさしい再生紙・植物油インキを使用しています。  
 また、カラーバリアフリーを含む、ユニバーサルデザインに配慮しています。  
 本書の無断転載・複製を禁じます。

**帝国書院**

〒101-0051  
 東京都千代田区神田神保町3-29  
 TEL 03-3262-0831  
 URL <https://www.teikokushoin.co.jp/>

# 中学校社会科地図

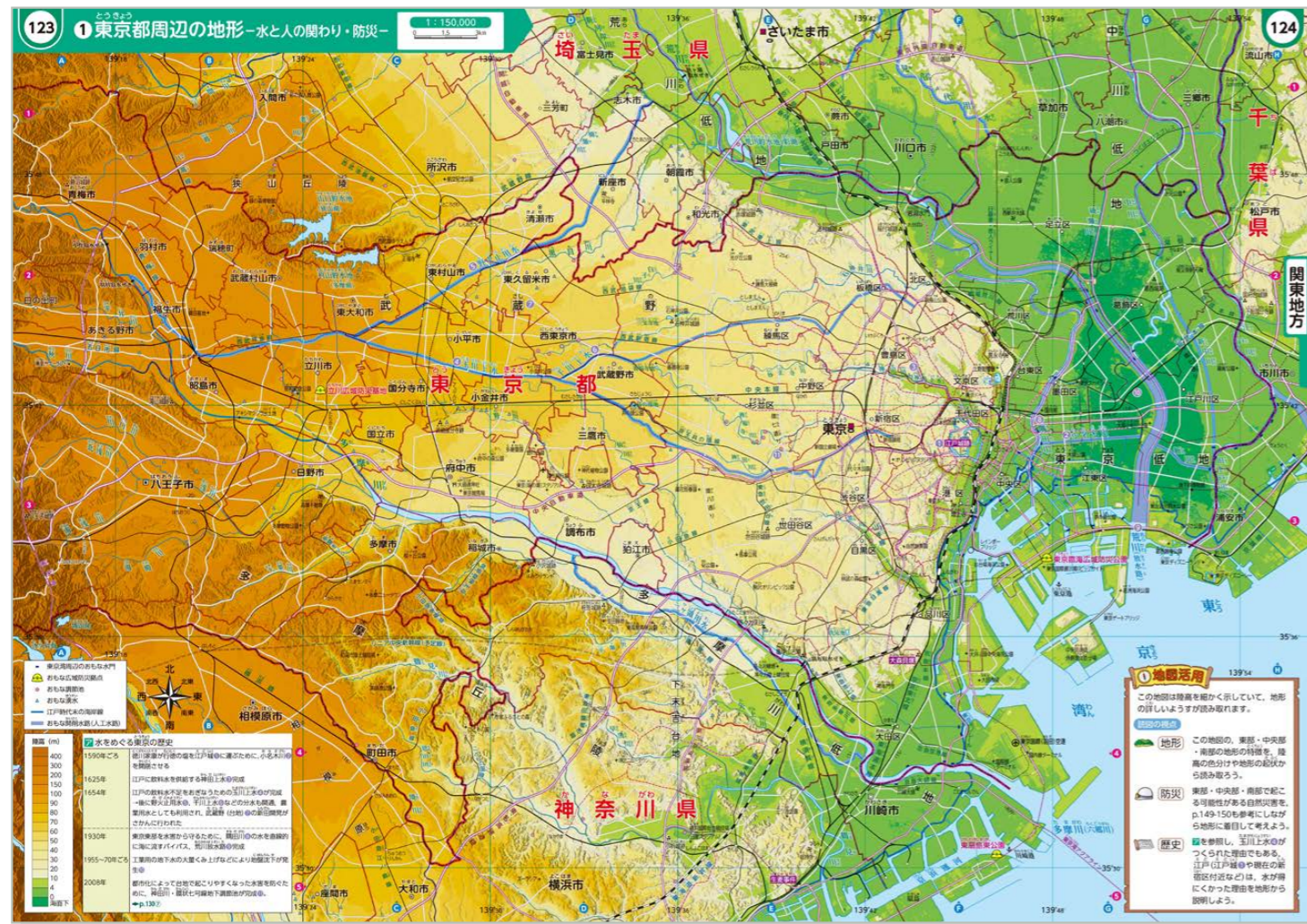
帝国書院編集部編



大判化で  
 さらに  
 見やすい!  
 使いやすい!



帝国書院



▲地図帳 p.123-124

# 本資料のもくじ

## 特色 ① 大判化で地域の特色が捉えやすい 3

- 世界への関心を引き出す大迫力の鳥瞰図 ..... 3
- わかりやすさと見やすさの追究 ..... 7
- 地域間の結びつきがよりわかる地図 ..... 11

## 特色 ② 防災・領土の資料が充実 17

- 防災への意識が高まる充実の資料 ..... 17
- 地域の防災を考えられる詳細な地形表現 ..... 19
- 日本の領域が正しく理解できる ..... 25

## 特色 ③ 歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる 27

- 歴史での地図帳の活用 ..... 27
- 多面的・多角的に事象を捉えられる ..... 29
- 修学旅行などでの地図帳の活用 ..... 31

## 特色 ④ 主体的に学べて、資料活用能力が高まる 33

- 地域理解につながる充実の資料 ..... 33
- 社会的な見方・考え方を働かせる「問い」 ..... 35
- 二次元コード コンテンツ ..... 37

## 特色 ⑤ さまざまな学習環境に配慮 39

- 特別支援教育・インクルーシブ教育への配慮 ..... 39

## サポート/特色一覧 41

地図帳指導のサポート	① デジタル教科書・教材 ..... 41
	② 教師用指導書・指導者専用サイト・定期刊行冊子など ..... 43
『中学校社会科地図』の特色一覧	① 教育基本法との対応 ..... 45
	② 検討の観点から見た内容の特色 ..... 47
	③ 学習指導要領の項目に沿った編集上の特色 ..... 50
	④ 資料図 項目別掲載一覧 ..... 51
	『中学校社会科地図』の全体構成(もくじ) ..... 53
	著作者を代表して/本書の著作権関係者 ..... 54

# 『中学校社会科地図』に込めた想い

帝国書院 編集部

本地図帳には、私たちがこれまで培ってきた技術と、地図帳に対する強い想いが込められています。今日、世界のさまざまな土地に人が住み、それぞれの土地に住む人たちは生活を向上させるために知恵を絞り、努力を積み重ねています。本地図帳では、そうした人々の営みが中学生の皆さんに伝わるように、題材や表現を工夫しています。

また、地理的分野だけでなく、歴史的分野や公民的分野の学習でも活用できる資料も多く掲載し、社会科における学力向上の土台になるように作成しています。さらに、防災や減災を考えたり、修学旅行や卒業後の生涯学習にも活用したりできるように、取り上げるテーマを吟味しています。

地図を通じて見聞を広げることは、人生を豊かで実りあるものにする事だと、私たちは確信しています。中学生の皆さんが日本・世界へ視野を広げるときに、その傍らにいつも地図帳があることを願っています。

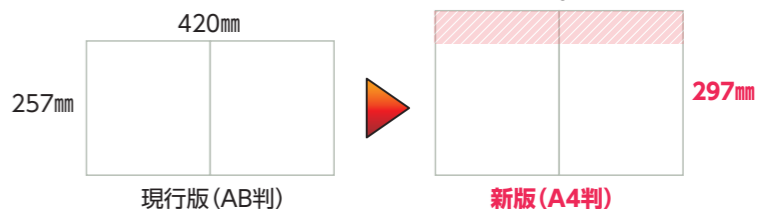
## 地図帳の判型変更について

▶ 現行版地図帳(AB判)に比べて、タテを40mm広げています(A4判)。  
※軽くて丈夫な用紙を開発・採用し、大判化でも重くならないようにしています。

紙の軽量化については、本資料 p.40

### 大判化による利点

- ① 大きくなり見やすい
- ② 地域間の結びつきがよりわかる



※本資料に掲載している教科書紙面は、見本本と一部内容が異なる場合があります。

# 1 大判化で地域の特色が捉えやすい 世界への関心を引き出す大迫力の鳥瞰図

世界の鳥瞰図を例に

大判化(A4判)によるダイナミックな紙面を生かし、  
世界各州の鳥瞰表現の地図を新設・リニューアルしています。  
各州の地域的特色を大観し、概略をつかめます。

**New** **原寸大**

**43 アフリカ州の資料(2)**

**1 アフリカ州をながめてみよう**

① 図に示されたらくだやゴリラ、ライオンがいるところの植生を、p.42 ② 図で確認して答えよう。

② p.42 ② A-B 間の断面図

キリマンジャロ山 5895m  
コンゴ盆地

p.43

**! ポイント**

- ▶ 地形だけではなく、世界各州の自然環境や生活・文化、産業などさまざまな特色がより視覚的に読み取れます。
- ▶ 小学校からの橋渡しとなるように、親しみやすいイラストを多数掲載しています。
- ▶ 鳥瞰図で地域を大観することで、一般図での読み取りがしやすくなります。

自然環境 生活・文化 産業

本資料 p.5-6

**75 オセアニア州の資料**

**1 オセアニア州をながめてみよう**

① 地形活用

② p.75-76

**南アメリカ州の資料**

**1 南アメリカ州をながめてみよう**

① 地形活用

② p.68

**原寸大** 本資料 p.5-6

**25 アジア州の資料(2)**

**1 中国とそのまわりをながめてみよう**

① 地形活用

② p.25-26

現行版地図帳の鳥瞰図に比べて、**大判化により**  
の部分を拡張しています。

**49 ヨーロッパ州の資料(1)**

**1 ヨーロッパ州をながめてみよう**

① 地形活用

② p.49-50

**61 北アメリカ州の資料(1)**

**1 北アメリカ州をながめてみよう**

① 地形活用

② p.61-62

**充実の鳥瞰図(世界の6州すべてに設置)**

1	p.25-26①	中国とそのまわりをながめてみよう	
2	p.43①	アフリカ州をながめてみよう	New
3	p.49-50①	ヨーロッパ州をながめてみよう	
4	p.61-62①	北アメリカ州をながめてみよう	
5	p.68①	南アメリカ州をながめてみよう	New
6	p.75-76①	オセアニア州をながめてみよう	New



パンアメリカンハイウェイ  
トランスアマゾンハイウェイ  
カラジャス鉄道



原寸大

一般図

鳥瞰図

ポイント  
鳥瞰図でイメージを形成し、  
一般図で詳細を捉えられます。

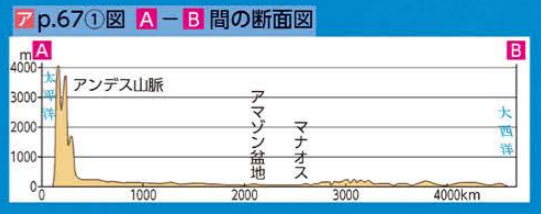
地図活用  
地球の正反対側に置いた日本の本州と同じ緯度にある首都を三つ答えよう。



1 南アメリカ州をながめてみよう



地図活用  
アマゾン川の河口からマナオスなどの都市がある内陸部まで船でのぼることができる理由を、この断面図やp.67の地図の陸高に着目して説明しよう。

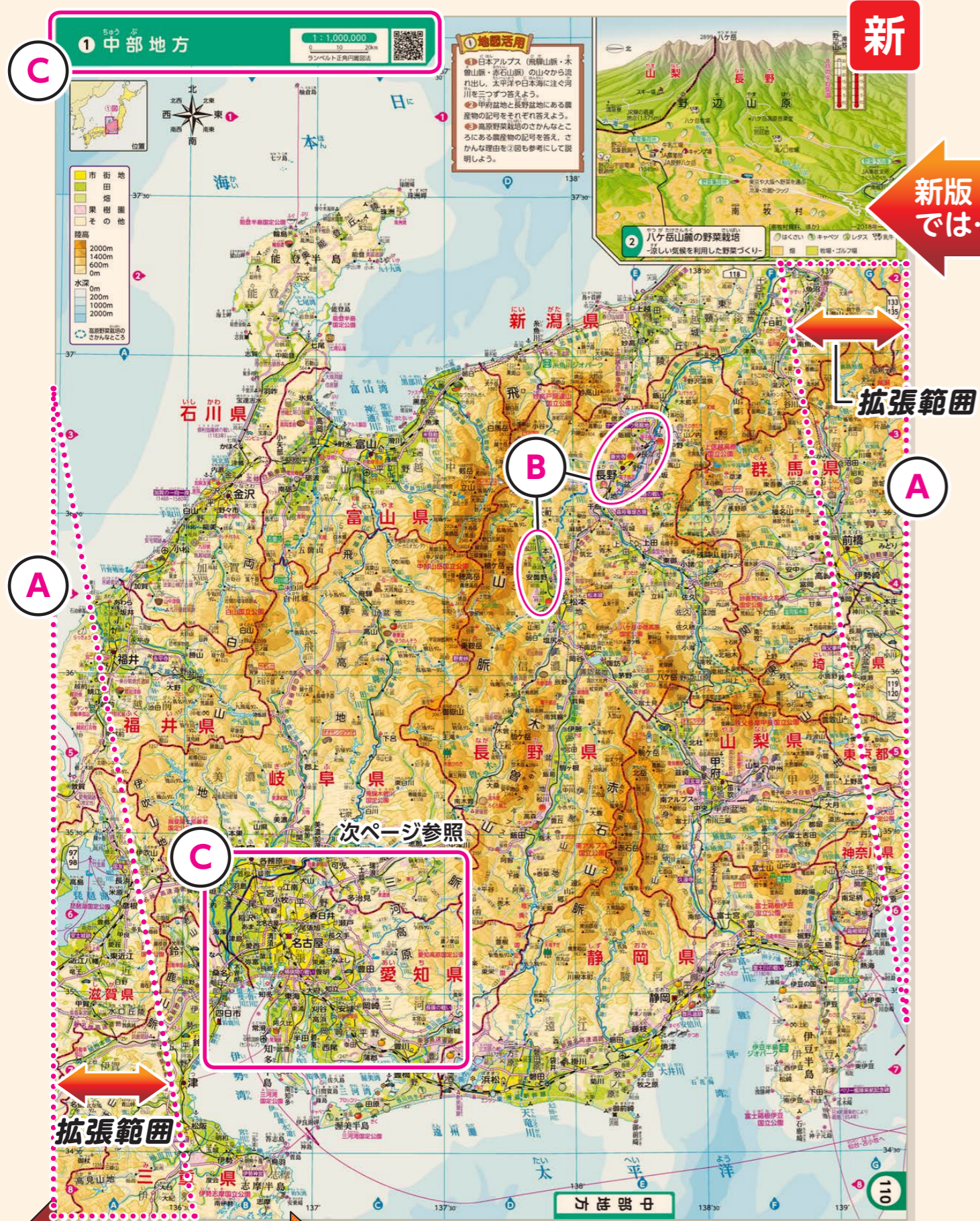


南アメリカ州

特色  
**1**

# 大判化で地域の特色が捉えやすい わかりやすさと見やすさの追究

100万分の1図を例に



**A** 大判化(A4判)による利点

- ▶ A4判の紙面を生かし、**拡張範囲**の範囲を拡張しています。地域間の結びつきがより捉えられます。
- ▶ 紙面の範囲を広げたことで、中部地方の地図も紙面の真上が北になるわかりやすい配置にしています。

**B** 地域的特色がつかめる地図表現

- ▶ 土地の高さによる色分け(等高段彩表現)と、田や果樹園など土地の使い方による色分け(土地利用表現)を併用しています。標高が高い地域でも、川沿いに水田が広がっている、果樹栽培が盛んであるなどの地域の生活や産業の特色がつかめます。

**C** 見やすさへの工夫

- ▶ 全編にわたってユニバーサルデザインを採用しています。色や文字の書体・大きさに加えて、絵記号のデザインやレイアウトの統一(タイトル位置を紙面の左上に固定するなど)にも配慮しています。

見やすさへの工夫については、本資料p.39にも掲載

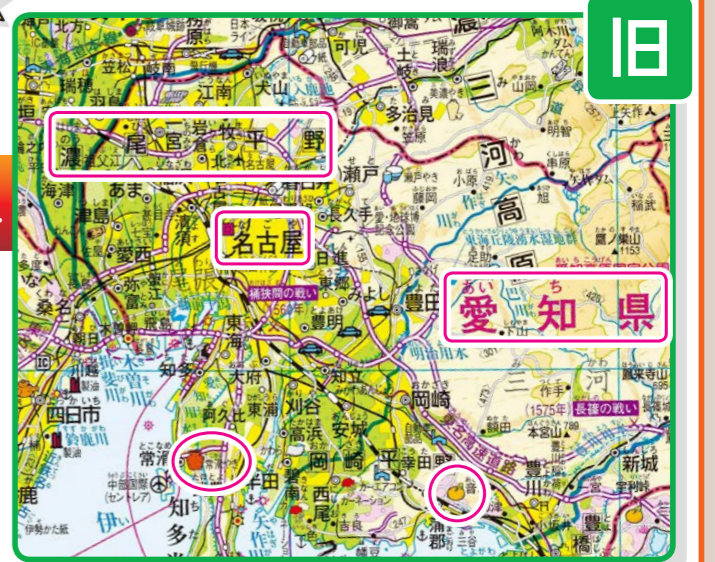
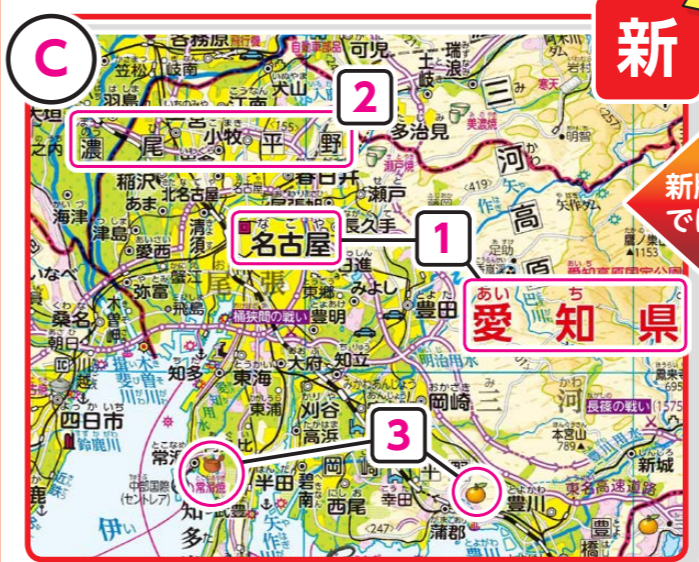
▲ 現行版 p.105-106  
※現行版では、見開きで収めるため地図が斜めになり、紙面の真上が北ではありませんでした。

新設した100万分の1図

1	p.79⑤~⑪	鹿児島県・沖縄県の島嶼部
2	p.117-118①	福井県・石川県・富山県

## 「見やすさ」の新旧比較

(名古屋周辺を例に)



- ポイント**
- 1 文字は、ユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用し、縮尺に応じて情報を精選しています。
  - 2 文字の配置が広範囲にわたる場合は、文字にほかの要素ができるだけ重ならないようにしています。
  - 3 農水産物や伝統的工芸品などの絵記号は、わかりやすいデザインに変更し、大きく示しています。

原寸大 本資料 p.9-10

▲ 新版 p.109-110

日本アルプス（飛騨山脈・木曾山脈・赤石山脈）の山々から流れ出し、太平洋や日本海に注ぐ河川を三つずつ答えよう。  
 甲府盆地と長野盆地にある農産物の記号をそれぞれ答えよう。  
 高原野菜栽培の記号を答え、さるにある農産物の記号を②も参考にして説明しよう。



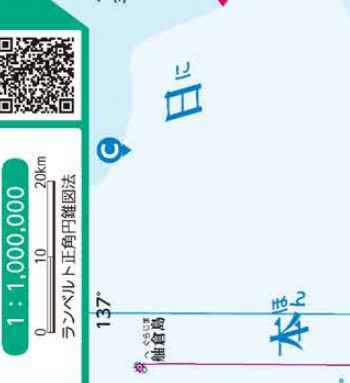
2

八ヶ岳山麓の野菜栽培  
 -涼しい気候を利用した野菜づくり-

やっかひだんまろく  
 はくさい キャベツ コルム場

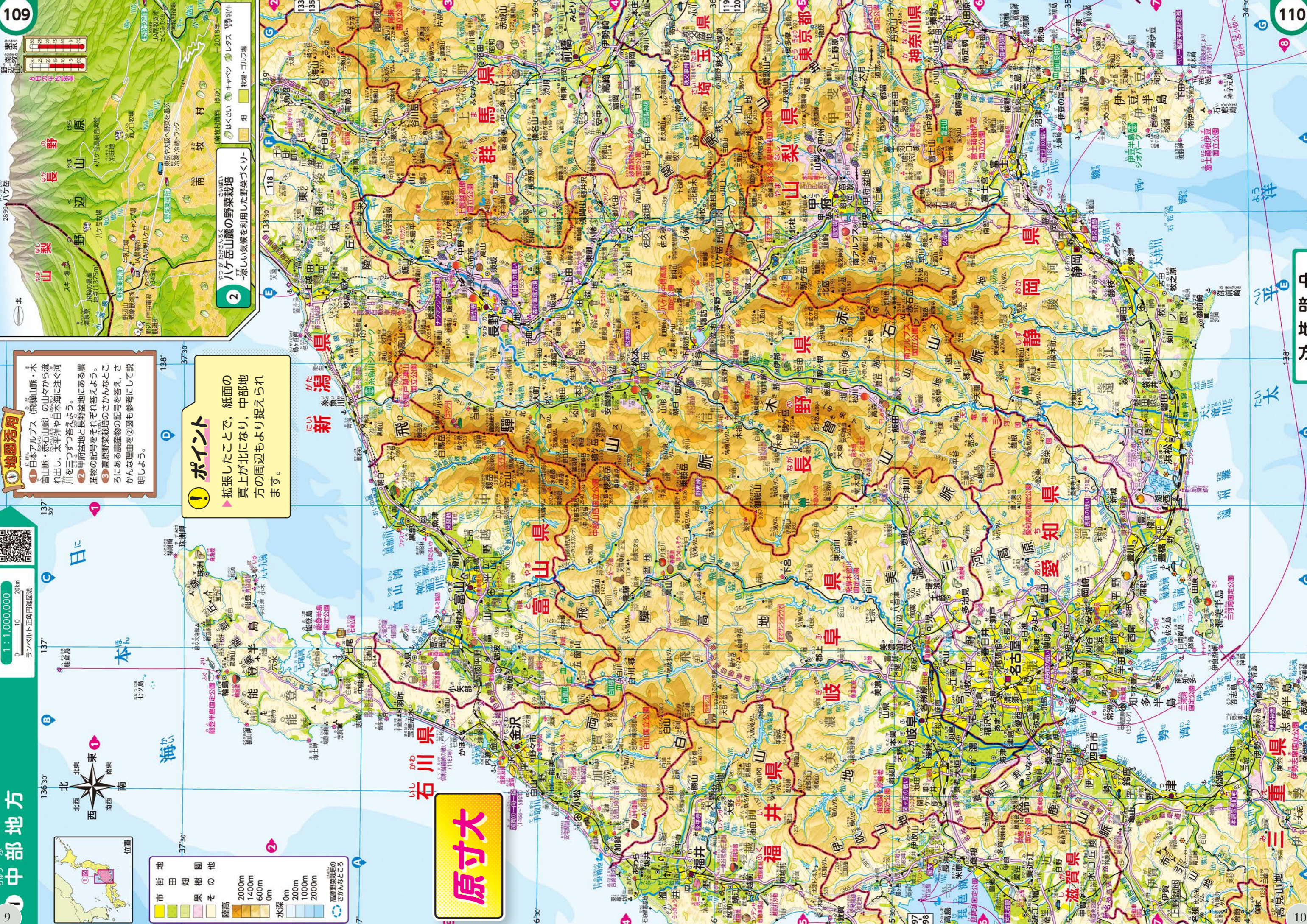
ポイント

▲ 拡張したことで、紙面の真上が北になり、中部地方の周辺もより捉えられます。



市街地	緑
田舎	黄緑
畑	黄
樹	茶
その他	白
陸高	2000m
	1400m
	600m
	0m
水深	0m
	200m
	1000m
	2000m
高原野菜栽培の記号	○
さかんところ	○

原寸大



# 特色 1 大判化で地域の特色が捉えやすい 地域間の結びつきがよりわかる地図

50万分の1 図を例に

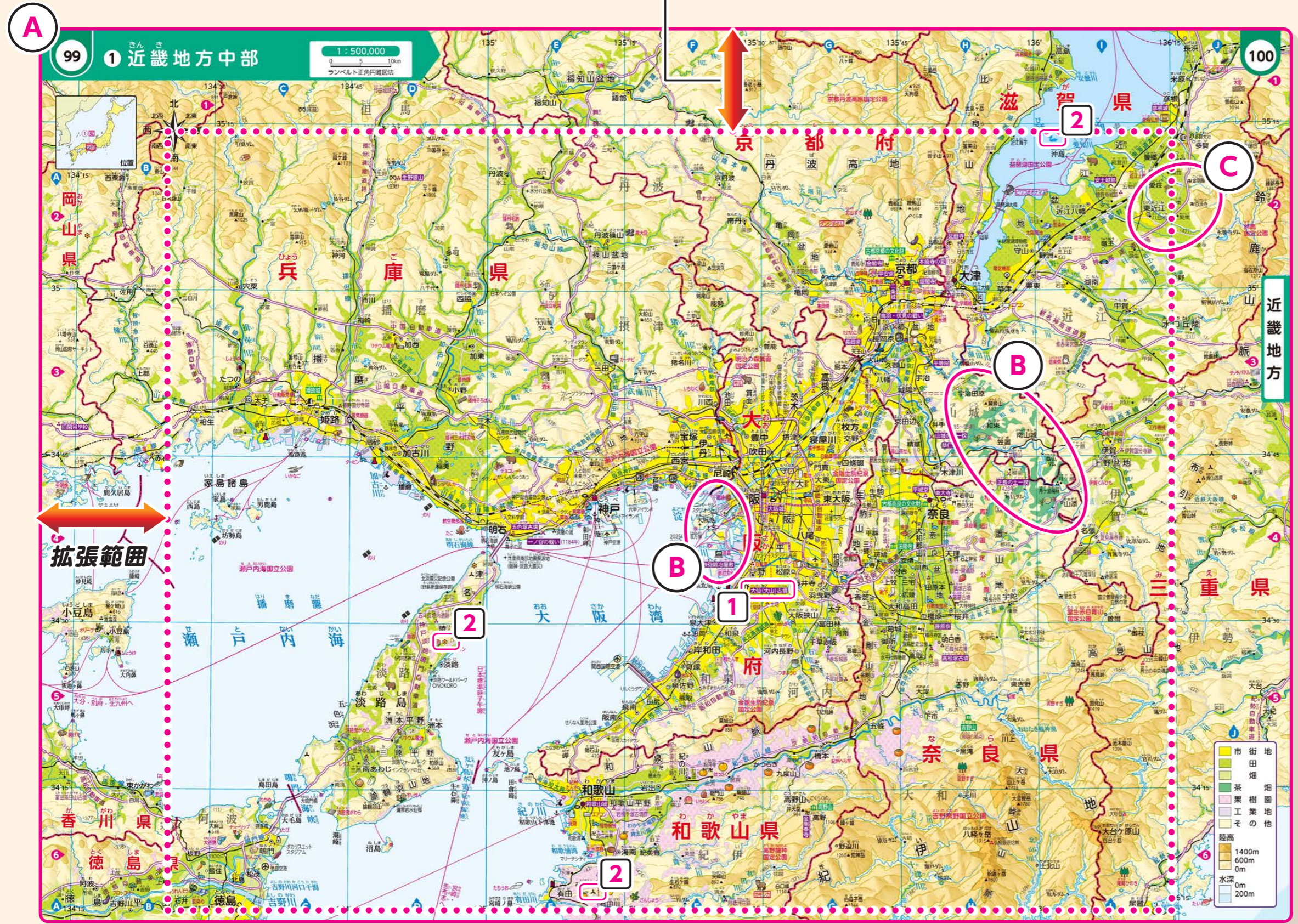
大都市周辺部を中心に、縮尺50万分の1 図を9か所設置しています。

**A** 大判化(A4判)による利点

▶ A4判の紙面を生かし、**拡張範囲**の範囲を拡張しています。交通などによる**地域間の結びつき**や、通勤圏・商圏のように、ある地域を中心にその影響のおよぶ範囲をまとめた**機能地域**がより捉えられます。

**B** 地域的特色がつかめる地図表現

▶ 50万分の1 図では、さらに「茶畑」や「工業地」の土地利用が読み取れるようにしています。日本の**地域的特色**の理解がより深まる**地図表現**にしています。



**C** あざやかな5色印刷

▶ 「田」や「畑」を明るく美しい色で表現するために、通常の4色インキに「緑黄色(クサ色)」を加えた**5色**で印刷しています。また、色味を調整し、従来よりも**目にやさしく**、**見やすい色表現**にしています。

**ポイント**

1 重要な歴史地名・事項が充実しています。  
大仏(大山)古墳 など

2 環境や再生可能エネルギーに関する記号が充実しています。  
風力発電所、太陽光発電所、ラムサール条約登録湿地など

## 充実の50万分の1 図 (政令指定都市をすべてカバー)

1	p.77③	沖縄島	
2	p.85-86①	九州地方北部	原寸大 本資料 p.15-16
3	p.93-94①	瀬戸内海周辺	New
4	p.99-100①	近畿地方中部	原寸大 本資料 p.13-14
5	p.111-112①	中部地方南部	
6	p.118③	新潟市とそのまわり	New
7	p.121-122①	関東地方南部	
8	p.135②	仙台市とそのまわり	
9	p.140②	札幌市とそのまわり	New



原寸大

**ポイント**  
▶ 拡張したことで、近畿地方の通勤圏・商圏などがより捉えられます。

市街地	畑	茶園	果樹園	工業地	その他
陸高	1400m	600m	0m	水深	0m
					200m



**原寸大**

**ポイント**  
▶ 拡張したことで、長崎市や熊本市などが入り、結びつきがより促されます。



拡張範囲

拡張範囲



エコタウン事業が行われている地域  
エコタウン事業  
環境関係施設  
おもな新エネルギー発電  
市街地  
工業地  
公園・緑地  
山地  
その他

九州地方



市街地	陸高
山	140m
畑	600m
茶畑	0m
果樹園	水深
工業地	0m
その他	200m

# 2 防災・領土の資料が充実 防災への意識が高まる充実の資料

資料図を例に

自然災害の発生過程から、被害、対策、そして復興まで学べます。理科との関連など、教科等横断的な活用も可能です。

## A 自然災害を理解する

▶地震や火山、水害などに関する意識を高められるように、日本で起こり得るさまざまな自然災害と防災への取り組みを示しています。

## B 地域での防災につなげる

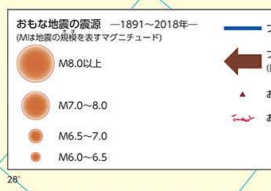
▶防災対策に留まらず、震災後の復旧や復興を見据えた視点を取り上げています。また、先人が残した“水害の碑”に刻まれた教訓をもとに、防災について考えられます。

## A リニューアル

### 149 日本の自然災害・防災

学習課題 日本では、どのような自然現象によって、どのような自然災害が起こっているのだろうか。

#### 1 日本の地震と火山の分布



#### 2 東日本大震災の被害



① 地図活用  
▶東北地方の太平洋沖では、日本海溝の東側・西側のどちらに地震の震源が多いか答えよう。  
▶堤防の決壊によって浸水した範囲の標高とおもな土地利用を答えよう。

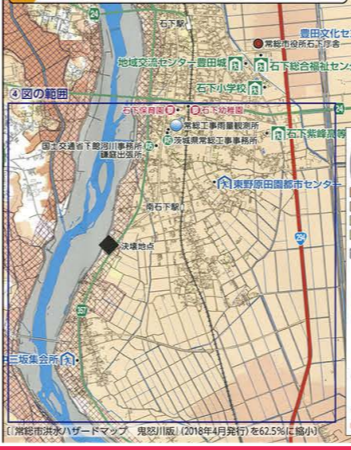
#### 3 自然災害に対する備え(模式図)



#### 4 地形図から読み取る浸水被害



#### 5 浸水の予想範囲や避難所などを示したハザードマップ(部分)



さまざまな自然災害を示すだけでなく、その対策について、**模式図をもとに実感をもって学習**できます。

地形図とハザードマップをもとに、**起こり得る災害から身を守ることを、生徒自身が考えられます。**

## B リニューアル

### 12 震災の被害と復興



p.132

### 9 広島市付近にある水害の碑の分布



p.96

## 充実の「防災」に関する資料(日本の7地方すべてに設置)

1	p.88⑫	火山災害への備え-島原半島-	New
2	p.96⑨	広島市付近にある水害の碑の分布	New
3	p.97②	神戸市付近のようす-災害への備え-	New
4	p.101-102①	大阪湾周辺の地形-地形と歴史・防災-	New 原寸大 本資料 p.23-24
5	p.108⑤	富士山噴火時の降灰予想	New
6	p.115③	洪水への備え	New
7	p.123-124①	東京都周辺の地形-水と人の関わり・防災-	New 原寸大 本資料 p.21-22
8	p.130⑦	都市型洪水への備え	New
9	p.130⑧	東京都の大規模災害への備え	New
10	p.132⑫	震災の被害と復興-岩手県宮古市(田老)-	リニューアル
11	p.144⑩	雪にそなえる札幌市	New
12	p.149-150	日本の自然災害・防災	リニューアル

# 防災・領土の資料が充実 地域の防災を考えられる詳細な地形表現

15万分の1図を例に

詳細な地形のようすを示した地図を新設しています。  
防災や歴史、産業などの学習テーマ(主題)を深められます。

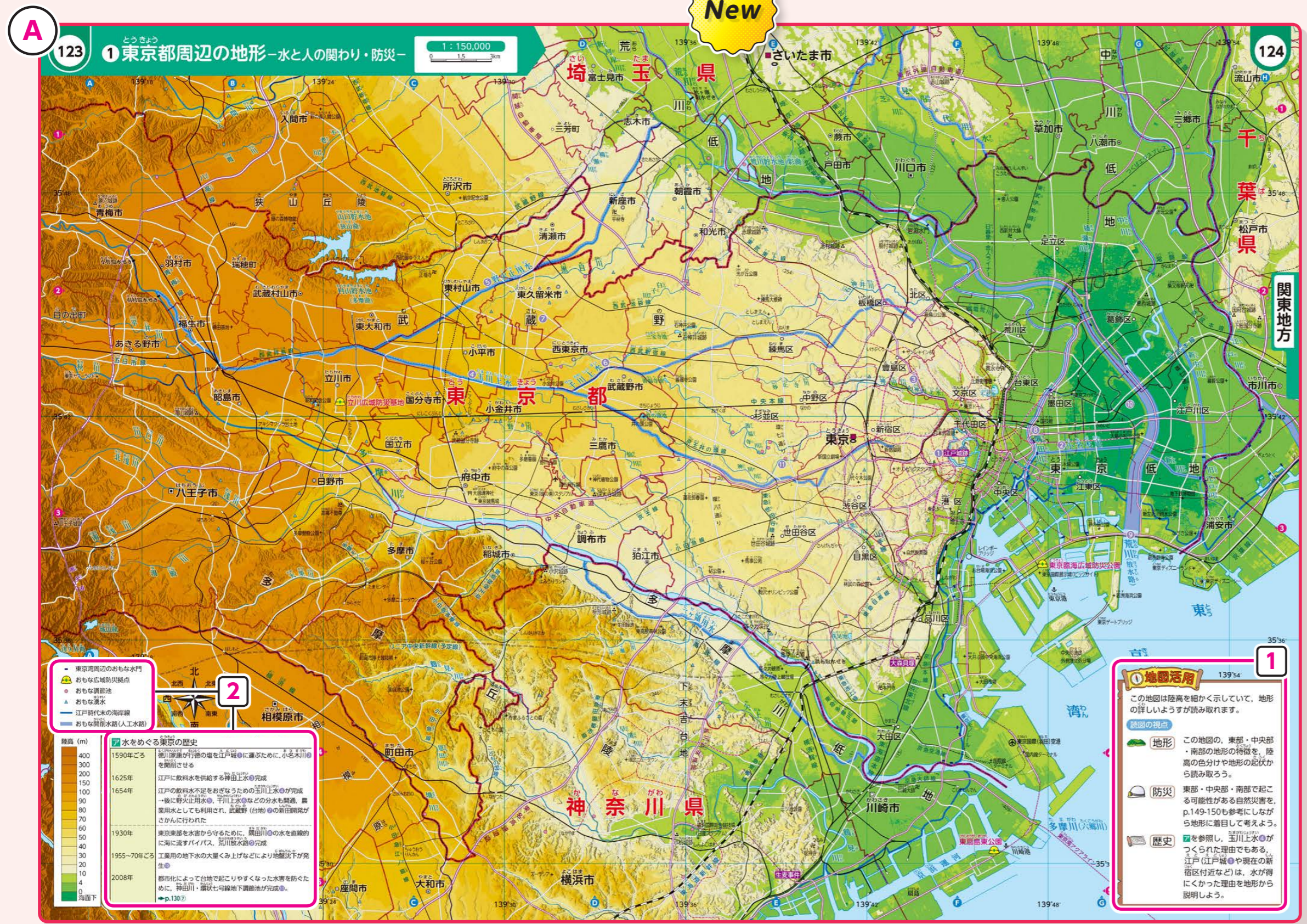
**A** 地形と人との関わりがつかめる地図

▶ 詳細な地形をもとに、その地域で起こりやすい自然災害とその対策など、**地形と人との関わりを読み解けます。**

**!** **ポイント**

学習テーマ(主題)をもとに地図を読み解く

- 「地図活用」コーナーで、詳細な地形表現の地図を読み解くための視点を示しています。地形と、防災や歴史との関わりを捉えられます。  
「地図活用」の詳細は、本資料p.35-36
- 「凡例や年表」をもとに、江戸時代からの治水事業や近年の都市型水害についてなど、**地形と人々の生活との関係が読み取れます。**  
読図の視点は、本資料p.21-24にも掲載



**B** 防災への理解を深める

▶ 人口が集中する都市部での「都市型洪水」とその対策を理解できます。例えば東京都の都心部では、Aの地図の「おもな調節池」の凡例と併せて確認することで、**防災対策についての理解をより深められます。**

**B** 防災 7 都市型洪水への備え (東京都建設局資料、ほか)

地下調節池のしくみ  
大雨のときは増水した川の水を地下調節池に流して洪水を防ぎ、雨があがると排水ポンプを使って戻す。

地下調節池の内部  
ゲートを開いて山の水を調節池に流す。ゲートは、調節池の水位が一定になると自動的に閉鎖する。

▶ p.130

**15万分の1図と学習テーマ(主題)**

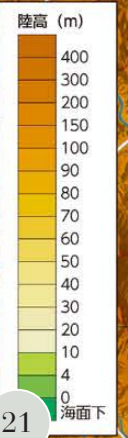
1	p.101-102① (15万分の1図)	大阪湾周辺の地形 学習テーマ 地形と歴史・防災	New
2	p.113① (30万分の1図)	名古屋市とそのまわり 学習テーマ 自動車工業	New
3	p.123-124① (15万分の1図)	東京都周辺の地形 学習テーマ 水と人との関わり・防災	New

※名古屋市とそのまわりのみ30万分の1図

原寸大

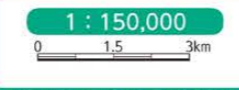
ポイント
▶東京低地などの海面下の土地や、台地上での調節池の分布といった防災の視点や、江戸城をはじめ多くの城は台地のへりに造られていたことなど、地形と歴史の関係も読み取れます。

- 東京湾周辺のおもな水門
おもな広域防災拠点
おもな調節池
おもな湧水
江戸時代末の海岸線
おもな開排水路(人工水路)



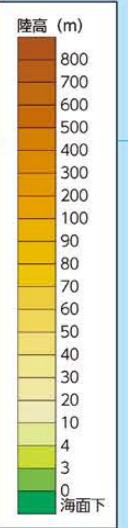
水をめぐる東京の歴史
1590年ごろ 徳川家康が行徳の堀を江戸城に運ぶために、小名木川を開削させる
1625年 江戸に飲料水を供給する神田上水が完成
1654年 江戸の飲料水不足をおぎなうための玉川上水が完成
1930年 東京東部を水害から守るために、隅田川の水を直線的に海に流すバイパス、荒川放水路が完成
1955~70年ごろ 工業用の地下水の大量くみ上げなどにより地盤沈下が発生
2008年 都市化によって台地で起こりやすくなった水害を防ぐために、神田川・環状七号線地下調節池が完成

地図活用
この地図は陸高を細かく示していて、地形の詳しいようすが読み取れます。
地形 この地図の、東部・中央部・南部の地形の特徴を、陸高の色分けや地形の起伏から読み取る。
防災 東部・中央部・南部で起こる可能性がある自然災害を、p.149-150も参考にしながら地形に着目して考えよう。
歴史 図を参照し、玉川上水が作られた理由でもある、江戸(江戸城)や現在の新宿区付近などは、水が得にくかった理由を地形から説明しよう。



原寸大

ポイント
かつての大和川の流路や、大阪城が上町台地の北端にあるといったことなど、地形と歴史の関係も読み取れます。



- おもな水門
おもな広域防災拠点
江戸時代後期の海岸線
おもな史跡
おもな古墳
おもな大型古墳群
古代のおもな集落や貝塚などの遺跡
2~4世紀ごろの河内湖の範囲(推定)
2~4世紀ごろの大和川の流路(推定)



地図活用
この地図は陸高を細かく示していて、地形の詳しいようすが読み取れます。
読図の視点
地形 神戸市は大阪市と比べて、平坦な土地が広いのか狭いのか読み取ろう。
防災 ①安治川や②木津川など、陸高が低い地域を流れる河川の河口付近に多くみられる施設を答えよう。また、その施設はどのような目的があるか考えよう。
歴史 古代の河内湖があった地域の陸高はどのような特徴があるか読み取ろう。また、遺跡や古墳の分布と地形にはどのような関係があるか考えよう。

# 防災・領土の資料が充実

日本の領域が正しく理解できる さまざまな地図を例に

日本の領域(領土・領海・領空)について、わかりやすく示しています。

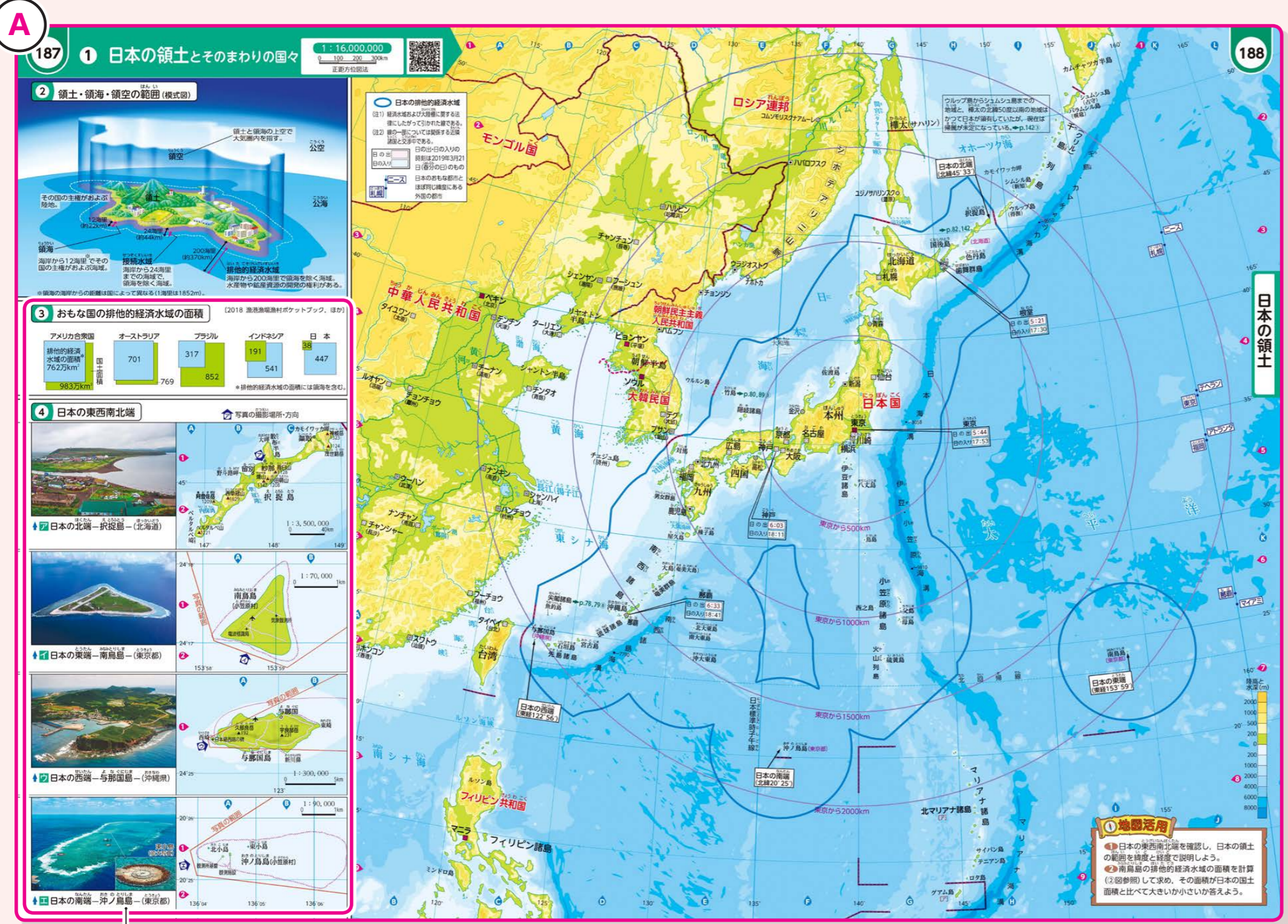
**A** 日本の領域を正確に把握

▶地図で我が国固有の領土や排他的経済水域がわかりやすく捉えられます。また、模式図による図解で、領域に関する用語の意味も理解できます。

※領土に関する文言は、政府の公式見解によります。

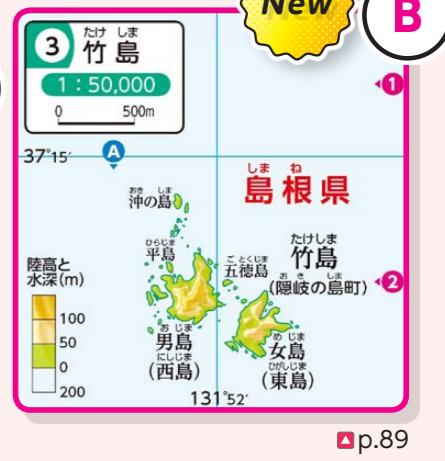
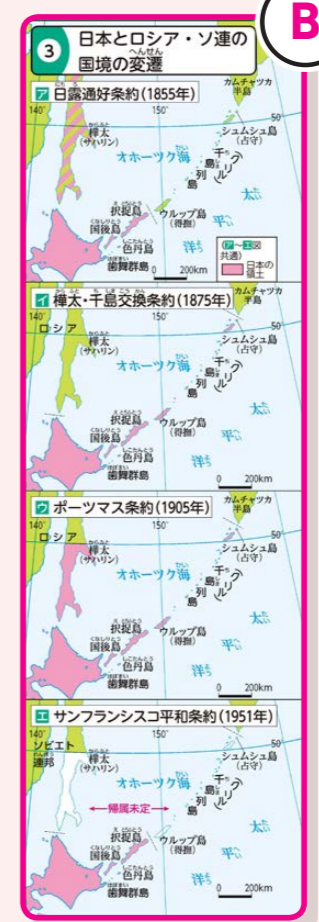
**B** 地域の目で捉える領土

▶沖縄が東アジアの重要な位置にあることや近隣諸国との結びつきが強いことが読み取れます。また、北方領土の歴史的経緯が読み取れます。さらに、竹島の詳細な地図を新設しています。



③図から、日本は国土面積に比して、排他的経済水域が非常に広いことがわかります。  
④図から、日本の東西南北端の島々を写真と地図の両方から確認できます。

※北方領土・竹島・尖閣諸島の位置と写真は地図帳p.78, 80-82で確認できます。



領土に関する資料

1	p.77②	南西諸島周辺
2	p.78, p.79⑧	尖閣諸島
3	p.80-81, p.89③	竹島 <span style="background-color: yellow;">New</span>
4	p.82, p.142①②③	北方領土
5	p.187-188 ①②③④	領域・排他的経済水域など

p.142

p.187-188

# 特色 3 歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる 歴史での地図帳の活用

日本の鳥瞰図などを例に

地理的分野のみならず、**歴史的分野でも活用**できます。そのためのさまざまな工夫を凝らしています。

**A 歴史で活用できる鳥瞰図**

▶ 鳥瞰図の上に、江戸時代の五街道や航路を示しています(—○)。また、②年表にある「江戸時代のおもなできごと」を地図上で確認することができます。

**! ポイント**

▶ 歴史的分野での活用(例)

- 江戸時代の主要な街道や宿場町、おもな関所がわかり、**参勤交代のルート**をたどれます。
- 旧国名と国境が記載されていて、当時の越前・越中・越後などの国名は、都(京都)からの距離関係で決められたことなどに着目できます。
- 戦国時代など**さまざまな時代の学習**で活用できます。

▶ 地理的分野での活用(例)

- 近畿地方から関東地方まで捉えられます。
- 起伏の激しい**中部地方の地形**を捉えられます。
- ③図も活用すると、江戸時代から現在、さらに山脈を貫く将来の中央新幹線(リニア予定線)までの**東西の交通路のルートや変遷**がわかります。



**107 1 本州中央部と五街道**

- 江戸時代
- 交通
    - 五街道
    - 五街道の宿場
    - 水戸街道
    - おもな関所
  - 山脈
    - 江戸時代の国名
    - 江戸時代の国界
- ①〜②は②年表のできごとがあった場所
- ① 地図活用**
- ②の年表にのっている江戸時代のおもなできごとを地図で確認しよう。

- 2 江戸時代のおもなできごと**
- 1603年 徳川家康が江戸に幕府を開く
  - 1614年 天竺の帰(〜1615年)
  - 1617年 日光東照宮が完成する
  - 1619年 参勤交代による江戸〜大坂間の運送開始
  - 1689年 松尾芭蕉が『おくのほそ道』の旅に出る(おもなルート: 江戸・早稲・山手・大坂)
  - 1707年 富士山の噴火(宝永噴火)
  - 1783年 浅間山の噴火
  - 1802年 東海道での旅のようすを描いた『東海道中膝栗毛』が出版される(〜1814年)
  - 1830年 伊勢神宮へのおかげ参りが大流行
  - 1837年 大坂で大塩平八郎の乱が起こる
  - 1853年 ペリーが浦賀に来航
  - 1868年 京都で鳥羽・伏見の戦いが起こる
- ※1 大坂の「版」の字は、明治時代初期までは「阪」と表記されていた
- ※2 おかげ参りの流行は江戸時代で数回あり、1830年は最大規模
- ①〜②は①図での位置を示す



**B 歴史で活用できる地図**

▶ 1860年頃の江戸の土地利用のようすがわかります。**新宿や品川、千住、板橋などが宿場町として重要であったこと**や、当時の東京湾はまだ埋立られていなかったことなどがわかります。



# 特色 3 歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる 多面的・多角的に事象を捉えられる 東アジアの鳥瞰図を例に

「地図は上が北」という固定概念にとらわれない柔軟な視点の地図を設置しています。

**A** 視点を変えた地図  
 ▶日本を大陸から見わたすことで、「弧状列島・日本」の姿がより明確に捉えられます。また、日本海が日本の内海のように見えるなど、生徒の新たな気づきを促します。

**B** 歴史でも活用できる  
 ▶古くは、日本海側が大陸とのつながりにおいて「玄関口」になっていた歴史や、琉球王国が中継貿易で繁栄した理由がよくわかります。

**A** 31

**B** 32

1 東アジアと日本の交流の歴史-大陸から見た日本-

アジア州

**1 地図活用**  
 東アジアと日本のおもな交流ルートを示す地図で、交流に大きな役割を果たした海を三つ以上答えよう。

**2 日本との結びつき**  
 2 現代の大陸との交流

直行便で結ばれる空港(2015年1月)  
 ●日本の航空会社が結ぶ都市  
 ▲外国の航空会社が結ぶ都市  
 ○おもな路線(週140便以上)  
 ●日本人学校のある都市(2014年7月)  
 ●仕事などで、1000人以上の日本人が1か月以上住んでいる都市

**3**

歴史地名・史跡  
 (次) かつての地名  
 ●日本と大陸にかかわる史跡  
 ▲稲作にかかわる史跡  
 ○おもな交流ルート  
 ●遣唐使(7~9世紀)  
 ●鑑真の渡海路(8世紀)  
 ●海路(8~10世紀)  
 ●新羅使(11~12世紀)  
 ●高麗使(11~12世紀)  
 ●高麗使(15~16世紀)  
 ●高麗使(16~17世紀)  
 ●高麗使(17世紀)  
 ●高麗使(18世紀)  
 ○おもな高速・幹線鉄道

土地利用  
 ●田 ●遊牧地  
 ●畑 ●森林・その他

中国から日本にもたらされた宝物(7~9世紀)  
 ●書道の練習(中国 シャントン(山東)省)  
 ●もち米を使った料理  
 ●赤飯(日本) ●ヤッパ(朝鮮半島)  
 ●似ている競技  
 ●すもう(日本) ●シルム(朝鮮半島) ●アブ(モンゴル)

**ポイント**

1 東アジアとの古くからの関わりを読み解く  
 7~18世紀の間にあった、東アジアと日本列島とのおもな交流を、「遣唐使」、「琉球王国時代の交易路」、「朝鮮通信使」など七つの観点で示しています。

2 東アジアと日本の現代の結びつきがわかる  
 シャンハイ、ソウルなどの主要な都市とは週140便以上の航空路線で結ばれていることがわかります。これらの都市では、日本企業が多く、日本人学校も存在するなど、とくに結びつきが強いことがわかります。

3 東アジアと日本の共通点がわかる  
 中国から伝わった稲(米)を使った料理や、相撲と似た競技など、古くからの結びつきのなかで、東アジアと日本に共通して見られる生活・文化がわかります。

**+α アルファ 公民でも活用できる**

▶巻末の日本の統計に、都道府県ごとの「65歳以上人口割合」や「合計特殊出生率」の項目を設置しています。公民的分野の「少子高齢化」などの学習に活用できます。

65歳以上人口割合(%) 2018年	合計特殊出生率 2017年	おもな伝統的工芸品・特産物 (青文字は伝統的工芸品)	都道府県	県番号
30.3	1.29	アトクシ、てんさい、じゃがいも、あずき、バター	北海道	1
31.2	1.43	軽便、りんご、にんにく	青森	2
31.6	1.47	岩手、岩手、南部鉄器、りんどう、わかめ	岩手	3
26.6	1.31	こけし、雄勝すずり、さめ、養殖かき	宮城	4
35.0	1.35	かば細工、川運漆器、じゆんざい、はたはた	秋田	5
31.9	1.45	碓氷将棋、曹洞庵、さくらんぼ、西洋なし	山形	6
29.5	1.57	津塗、大相馬焼、もも、さやいんげん	福島	7
27.7	1.48	きんぎょ、笠間焼、れんこん、くり、ピーマン	茨城	8
27.1	1.45	吉城焼、益子焼、いちご、かんぴょう	栃木	9
28.3	1.47	時勢かすり、養生織、こんにやくいも、毎、キャベツ	群馬	10
25.5	1.36	人形、桐たんす、ねぎ、茶	埼玉	11

▶p.172



# 特色 3 歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる 修学旅行などでの地図帳の活用 5万分の1図を例に

修学旅行や校外学習での訪問が多い都市を中心に、縮尺5万分の1図を12か所設置しています。

**A** 修学旅行などで活用できる

▶ 詳細な地図のため、見学先の史跡・名勝や寺社、おもな施設、最寄り駅などがよくわかり、班別活動にも活用できます。訪問の事前学習や事後学習にも活用できます。

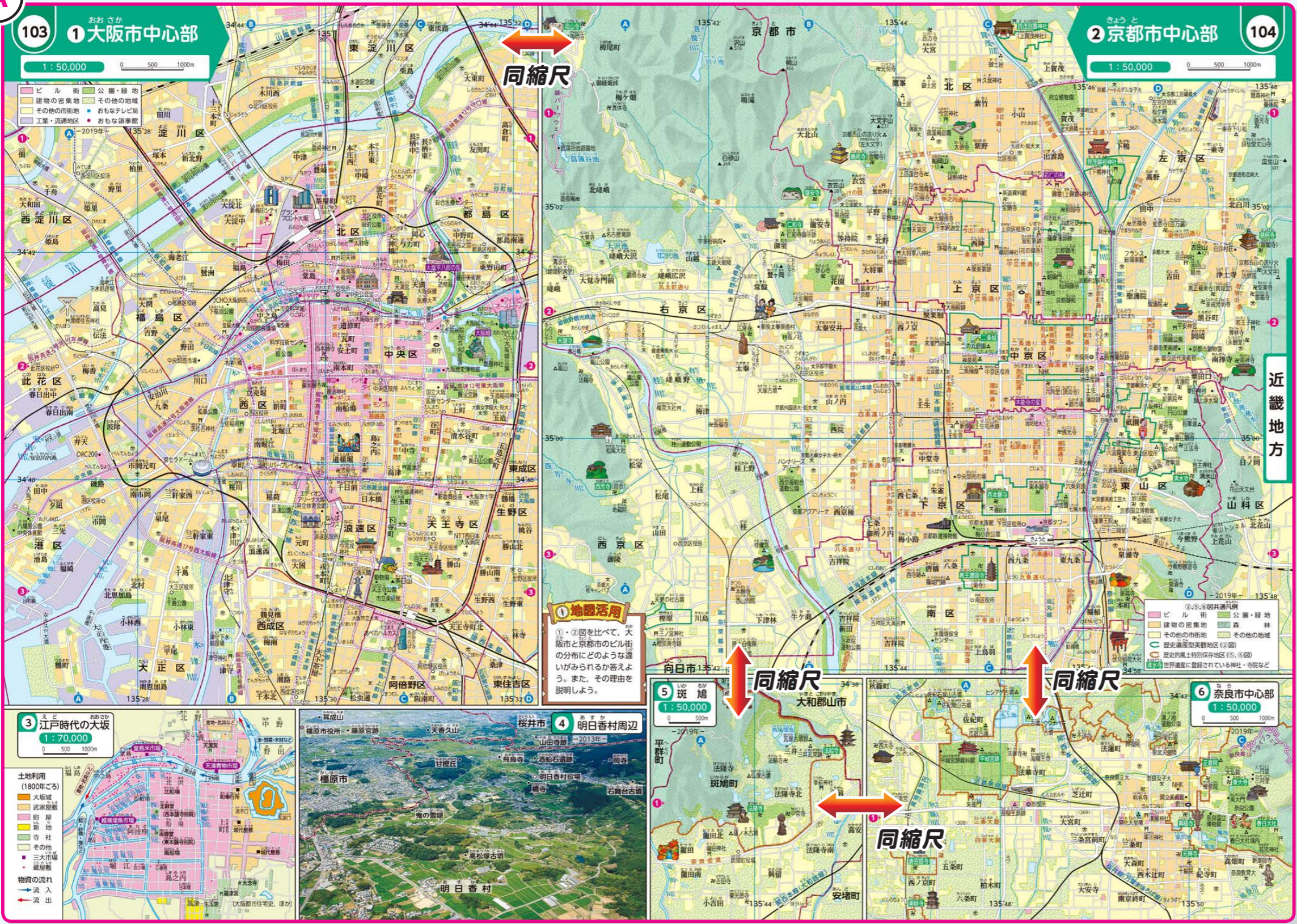
**!** **ポイント**

▶ 縮尺を5万分の1に統一した地図  
都市中心部の地図は、原則縮尺を5万分の1に統一しています。ほかの都市と比較したり、国土地理院の5万分の1地形図と比較したりする教材としても活用できます。

▶ イラストを一新  
寺社や施設などの特徴を描いたイラストを一新し、カラーでよりわかりやすくしています。また、イラスト掲載数も増やし、地図に親しめるようにしています。 例：伏見稲荷大社



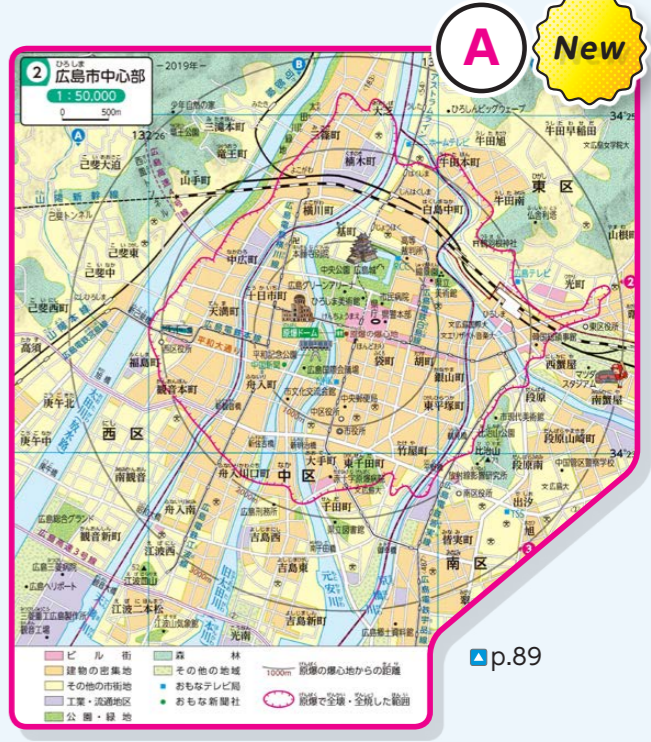
**A**



## 修学旅行などで活用できる5万分の1図

1	p.77④	那覇市中心部*	New
2	p.88⑧	福岡市中心部	
3	p.89②	広島市中心部	New
4	p.103①	大阪市中心部	
5	p.103-104②	京都市中心部	
6	p.104⑤	斑鳩	
7	p.104⑥	奈良市中心部	
8	p.115④	名古屋市中心部	
9	p.125-126①	東京都の中心部	
10	p.128⑨	横浜市中心部	
11	p.132⑨	仙台市中心部	
12	p.140③	札幌市中心部	

\*那覇市中心部のみ10万分の1図



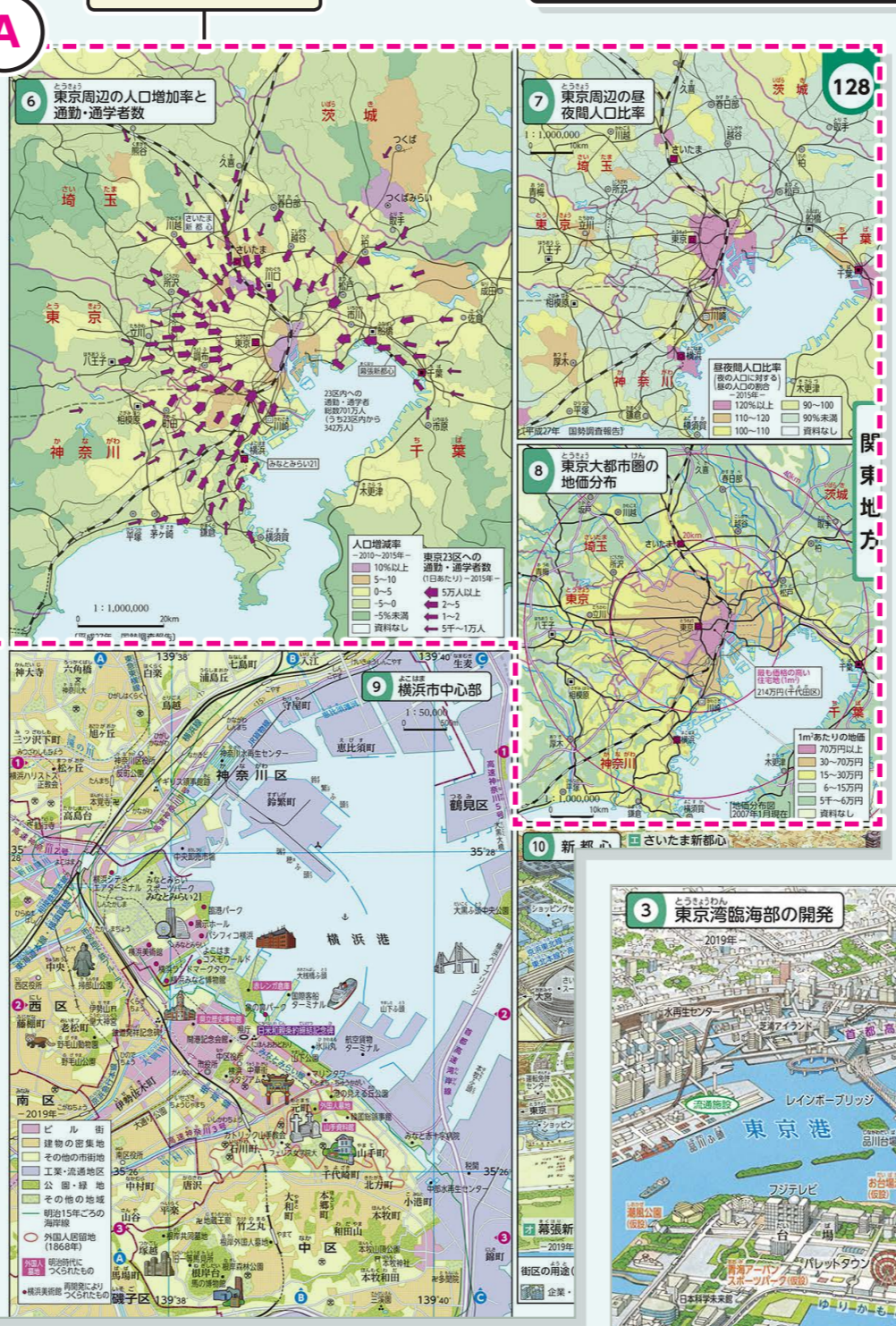
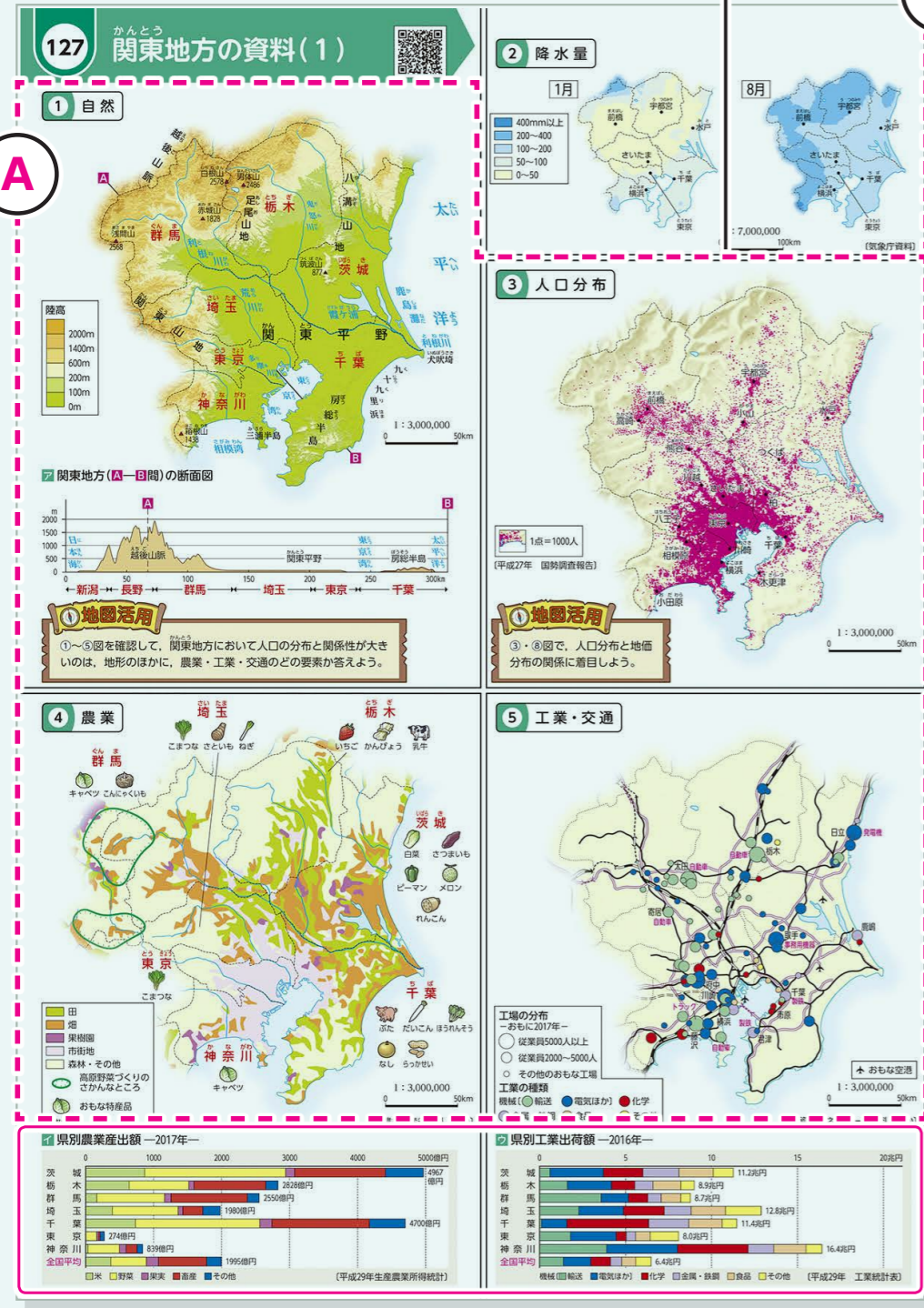
# 4 主体的に学べて、資料活用能力が高まる 地域理解につながる充実の資料

資料図や統計を例に

課題解決的な学習に活用できる資料図は、大判化(A4判)により質・量ともに現行版より充実しています。

資料図 項目別掲載一覧は、本資料 p.51-52

すべて同縮尺



p.127-128

**A** 比較を通して地域の特徴がわかる資料図

▶日本の各地方すべてに、自然環境、人口、産業、交通の四つの中核となる事象の資料図を設置しています。また、事象を同縮尺で示すことで、分布の特徴や事象間の因果関係を比較・関連づけながら考察できます。

※世界の各州についても、多くの資料図を同縮尺で示しています。

**B** 見やすい統計やさくいん

▶統計やさくいんにもユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用しています。また、行間にゆとりをもたせて、見やすさを追究しています。

**B 見やすい「統計」**  
(原寸大比較)

**新**

アルゼンチン共和国	ブエノスアイレス	4,404	278	16	58,384	66,899	大豆
ウルグアイ東方共和国	モンテビデオ	349	17	20	7,889	8,458	肉類
エクアドル共和国	キト	1,677	26	65	19,122	19,845	原油
ガイアナ共和国	ジョージタウン	74	21	3	1,790	1,762	金、自
コロンビア共和国	ボゴタ	4,929	114	43	37,766	46,050	原油
スリナム共和国	パラマリボ	57	16	4	1,441	1,209	金、石

▶ **新版** p.169

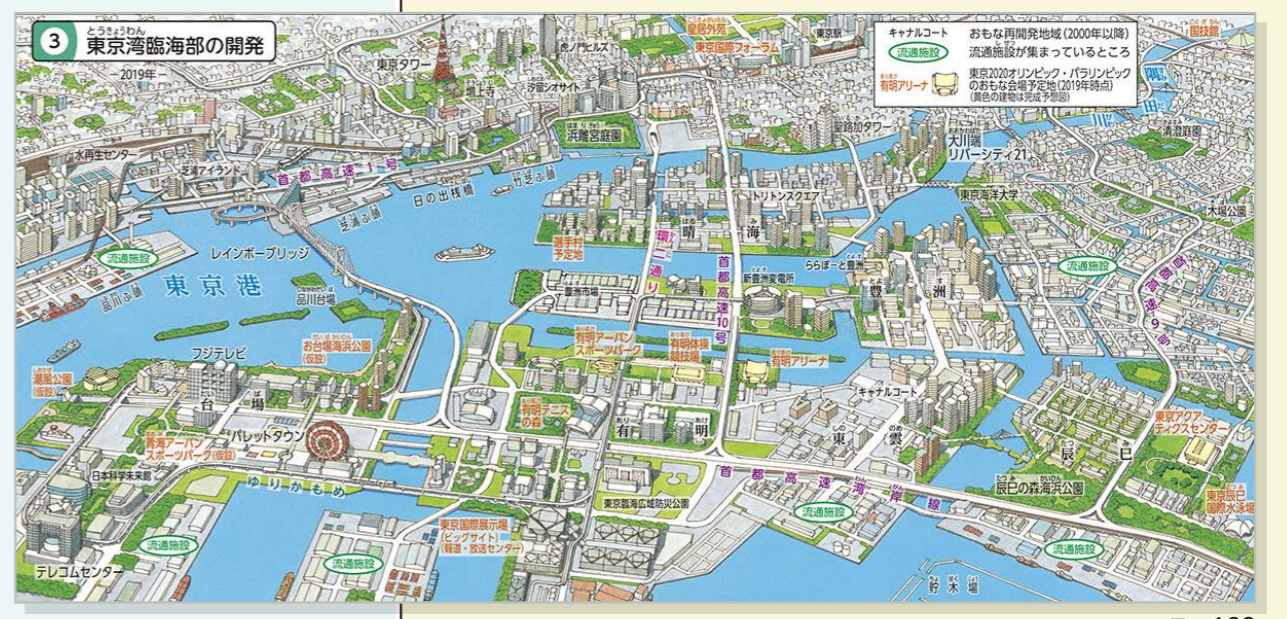
**旧**

アルゼンチン共和国	ブエノスアイレス	4,404	278	16	56,752	59,787	大豆
ウルグアイ東方共和国	モンテビデオ	349	17	20	7,670	9,489	肉類
エクアドル共和国	キト	1,677	26	65	18,331	21,387	原油
ガイアナ共和国	ジョージタウン	74	21	3	1,286	2,186	金(非貨幣)
コロンビア共和国	ボゴタ	4,929	114	43	35,691	54,036	原油
スリナム共和国	パラマリボ	57	16	4	1,918	1,827	石油製
チリ共和国	サンティアゴ	1,832	76	24	63,360	63,038	銅、銅

▶ **現行版** p.160

**+α アルファ** **オリンピック・パラリンピックの舞台に迫る**

▶東京湾臨海部の開発のようすがわかるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックのおもな会場予定地などが一望できる鳥瞰図を設置しています。



p.129

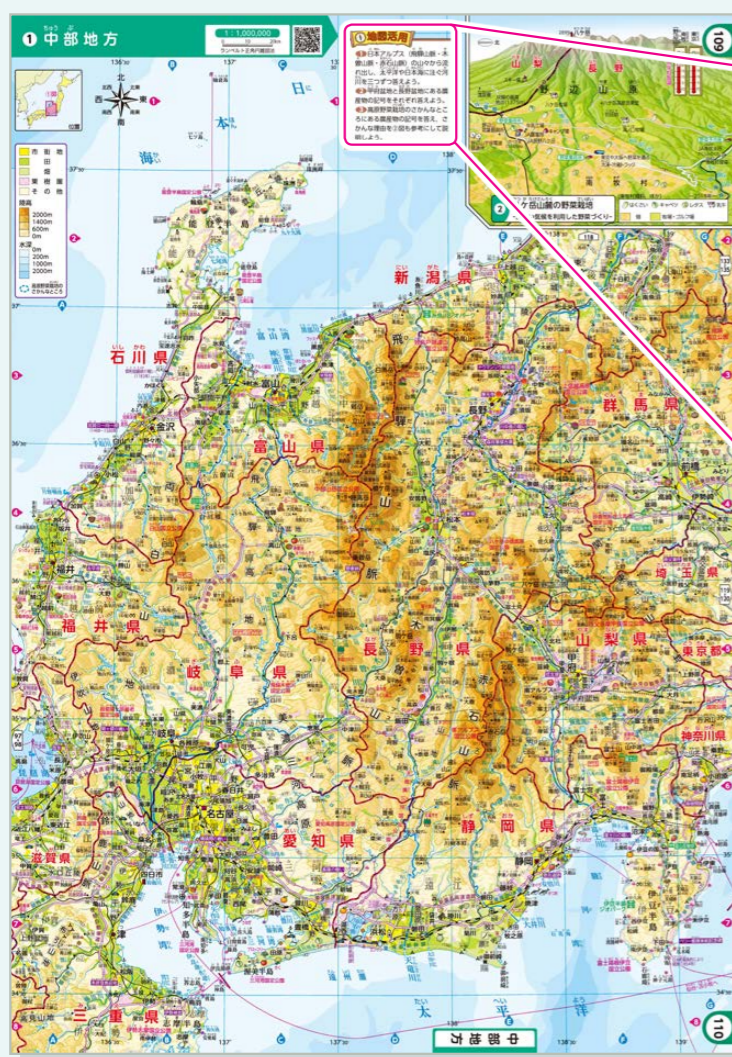
**ポイント**

▶都道府県や地方の産業の特徴を捉える棒グラフ 農業と工業には、資料図を補足する棒グラフを設置しています。

# 特色 4 主体的に学べて、資料活用能力が高まる 社会的な見方・考え方を働かせる「問い」

「地図活用」を例に

生徒が主体的に学べる問い「地図活用」を新設しています。  
「社会的な見方・考え方」を働かせる「問い」としてしています。



### 地図活用

**1** 日本アルプス（飛騨山脈・木曾山脈・赤石山脈）の山々から流れ出し、太平洋や日本海に注ぐ河川を三つずつ答えよう。

**2** 甲府盆地と長野盆地にある農産物の記号をそれぞれ答えよう。

**3** 高原野菜栽培のさかんなところにある農産物の記号を答え、さかんな理由を②図も参考にして説明しよう。

計94か所、  
全131問設置  
しています！

p.109-110

### A 問い「地図活用」

▶ 地図の読み取りなどの地理的技能が身に付くだけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせる「問い」を追究できます。

### ！ポイント

**1** 「社会的な見方・考え方」への対応  
「地図活用」の問いは、「社会的な見方・考え方」の中でも、「地理的な見方・考え方」に対応したものが中心です。「位置や分布」、「場所」、「人間と自然環境との相互依存関係」、「空間的相互依存作用」、「地域」などの視点で考察できる問いとしてしています。

### 1 「地図活用」指導ポイント一覧

【中学校 社会科Webへ】

読み込むと...

「地図活用」の全131問における「社会的な見方・考え方」との対応や指導上の工夫や留意点が見られます。

帝国書院『中学校社会科地図』  
「地図活用」指導ポイント一覧

令和3年度版 内容解説資料

ページ	【地図活用】の問い	解答	おもな活用単元	資質・能力	視点	指導上の工夫や留意点 【表】マーク：さらに深い学びにつなげるために
8	右の写真をヒントに、地形図から読み取ろう。1イの大きな建物は何か答えよう。	市役所	C(1)地域調査の手法	知識・技能	位置	・p.8①「地形図のおもな記号」の凡例から考えさせる。自分の解答を左の写真と照合して、理解させる。
8	2 ロープウェイのふもとから山頂までの標高差を三角点から求めよう。	およそ290m	C(1)地域調査の手法	知識・技能	位置 (位置関係)	・2万5千分の1の地形図なので、計曲線は50mごと、主曲線は10mごとに引かれている。ふもとと40mの等高線が読み取りにくいので、50mで計算してもよい(およそ280m)。
8	3 ハンカチから見て、厚層丸はどの方位にあるか答えよう。	北東	C(1)地域調査の手法	知識・技能	位置 (位置関係)	・地形図は上が北と決まっているので方位記号はかかれていない。小学校で使用する地図には方位記号がかけられていることが多いのでつまずきに留意したい。また、地形図の上は真北(経緯の指す上)のため磁北(磁石の指す北)とは一致しない。東京付近で西に約7°傾いている。
8	4 エの岳の山頂から山の麓までの直線距離を縮尺から求めよう。	およそ2100m (地形図上の長さを8.5cmとして計算すると、8.5cm×25000=212500cm=2125mとなる。)	C(1)地域調査の手法	知識・技能	位置 (位置関係)	・まず、問題文の上にある「地形図の縮尺とは」を確認し、地形図上の1cmの実際の距離はどのくらいかを考えさせる。
9	①図から、ユーラシア大陸、南アメリカ大陸を話し、それぞれの大陸で6000m以上の山々が連なる山脈を一つずつ答えよう。	ユーラシア大陸…ヒマラヤ山脈 南アメリカ大陸…アンデス山脈	A(1)地域構成/C(2)日本の地域的特色と地域区分	知識・技能	分布	・陸高の表現(色)や、山頂の標高が「▲8848」など数字で示されていることに気づかせさせる。 【深】p.9②「世界の造山帯と地震」と比較させることで、新しい造山帯に高い山脈や大きな地震の震源が分布していることを関連させると思考力育成につながる。
14	写真ア-カのようすがみられるところを地図で確認し、写真ウ-エの場所の植生を答えよう。	ウ…熱帯林 エ…砂漠	B(1)世界各地の人々の生活と環境/B(2)世界の諸地域	知識・技能	分布	・ウ エ オの写真の場所の植生を凡例(色)から読み取らせる。 【深】世界のおもな環境問題をア-カの写真から読み取り、その原因と対策をそれぞれの写真の解説をヒントに考えさせる。

## 「地図活用」の解答(生徒用)

p.6 (一部)

地図帳p.6の「地図帳の使い方」にある二次元コード内に収録されています。

### 地図活用をやってみよう

この地図帳には、地図活用の技能を身につけるためのコーナー「地図活用」を各所に設けています。地図の読み方や比較を通して、地図からわかることを整理したり、説明したりできるようになります。

右の二次元コードを読み取ると、「地図活用」の解答が確認できます。

### ① 地図活用

オーストラリアへの移民の出身地は、どのように変化しているか、地図を確認して答えよう。

### 解答例

p.8 国土地理院の地形図

- 市役所
- およそ290m
- 北東
- およそ2100m (地形図上の長さを8.5cmとして計算すると、8.5cm×25000=212500cm=2125mとなる。)

読み込むと...

## +α アルファ 小学校地図帳からの「問い」の架け橋

▶ 帝国書院では、令和2年度用の小学校地図帳において、児童が主体的に地図帳を活用できる問い「地図マスターへの道」を設置しました。この問いは「社会的な見方・考え方」を働かせた地図活用に有効との評価をいただきました。中学校地図帳においても、小・中接続や小・中一貫教育に配慮してその方針を踏襲し、地図帳内の「問い」を充実させています。

### 地図マスターへの道

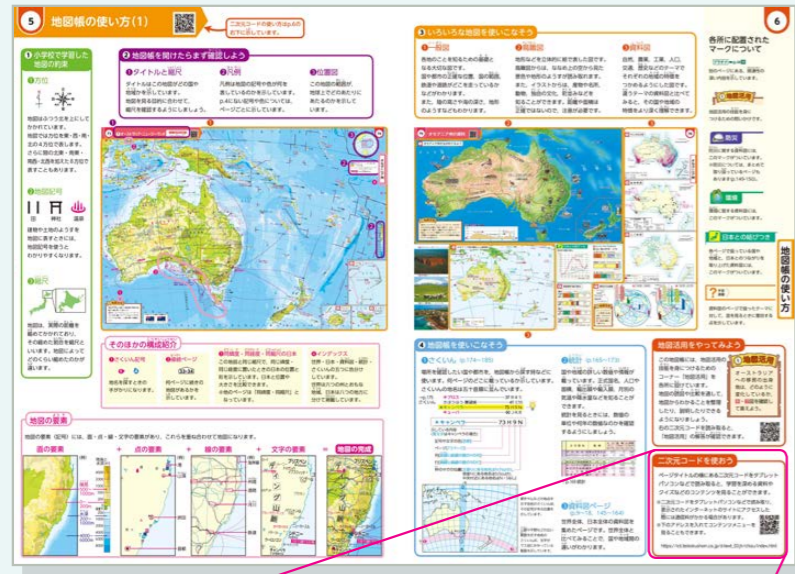
- 日本の南端、北端、東端、西端の島の名前をそれぞれ答えよう。
- 北方領土とよばれる島と群島の名前を四つ答えよう。
- 東京から沖縄島的那覇と大韓民国のソウルでは、どちらが遠いかな。

帝国書院 令和2年度用 小学校地図帳 p.29 「地図マスターへの道」

# 特色 4 主体的に学べて、資料活用能力が高まる 二次元コード コンテンツ

二次元コードを例に

アクセス先には、**学習を支援するさまざまなコンテンツ**を収録しています。



▶p.5-6

計**38**か所、  
全**111**のコンテンツ  
を収録しています！

**二次元コードを使おう**

ページタイトルの横にある二次元コードをタブレットパソコンなどで読み取ると、学習を深める資料やクイズなどのコンテンツを見ることができます。

※二次元コードをタブレットパソコンなどで読み取り、表示されたインターネットのサイトにアクセスした際には通信料がかかる場合があります。

※下のアドレスを入れてコンテンツメニューを見ることができます。

[https://ict.teikokushoin.co.jp/d-text\\_03jh/chizu/index.html](https://ict.teikokushoin.co.jp/d-text_03jh/chizu/index.html)



▶二次元コードのメニュー画面

## A NHK for School (動画)

▶おもに地理的分野の学習内容に関連した、コンパクトな動画を**69点**収録しています。



## B 世界・州別衛星画像

▶地図帳に掲載している世界地図と同じ図法の衛星画像を収録しています。



## D 小学校の復習をしよう

▶小・中接続や小・中一貫教育に配慮して小学校での地図活用の「振り返り」ができます。



### ！ポイント

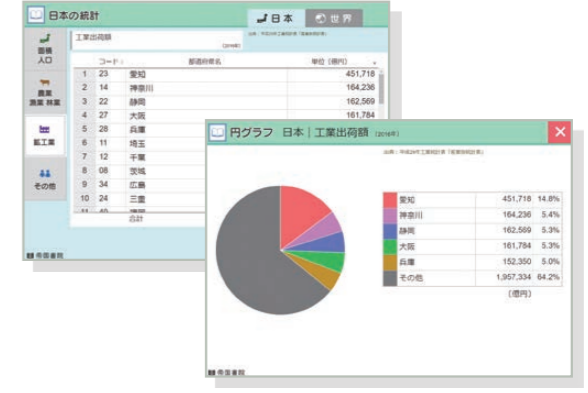
- ▶タブレットなどでの学習や、自主学習用として有効に活用できます。
- ▶紙面のタイトルわきの二次元コードからも各コンテンツにアクセスできます。



## C 統計資料

日本4分類87種、世界5分類74種の計**161種**のデータを収録！

▶世界と日本の統計資料を収録しています。円グラフ化できる項目もあります。



### 「二次元コード」掲載一覧

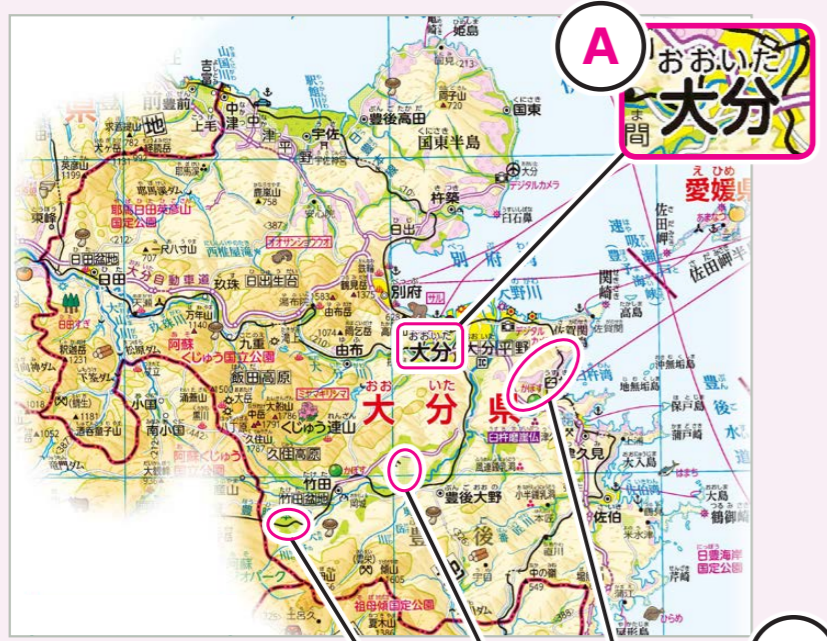
[凡例]

★：帝国書院独自コンテンツ  
☆：外部へのリンク

類	内容	地図帳のページ	コンテンツ数
A 1	NHK for School (動画) ★	p.19,41,45など	69
B 2	世界・州別衛星画像 ☆	p.19,41,45,57 p.67,73,78,80	7
3	世界をながめてみよう (鳥瞰図) ☆	p.25,43,49, p.61,68,75	6
4	一枚で見る日本列島 ☆	p.83,89,91,97,109 p.119,133,141	8
5	日本の基礎主題図 (テーマ別資料) ☆	p.87,95,105,114 p.127,131,143	5
C 6	統計資料 ☆	p.167,169,171	1 (161種)
7	地図クイズ ☆	p.186	3
D 8	小学校の復習をしよう ☆	p.5	5
9	地図活用 (問いの解答) ☆	p.6	6
10	州・地方別メニュー	※各コンテンツの内容を州・地方別にまとめたもの	※
11	地理院地図 ★	p.8	1

# 特色 5 さまざまな学習環境に配慮 特別支援教育・インクルーシブ教育への配慮

誰もが見やすい地図を実現するために、さまざまな工夫を凝らしています。



## A ユニバーサルデザインフォント

▶ 書体を、**可読性の高いユニバーサルデザイン(UD)フォント**に変更しています。そのなかでも、とくに**読みやすい丸ゴシック系**を多用しています。

▶ 重要な国名や主要都市名など、地名には**白色系の縁取り**を付けて、読みやすさを追究しています。

## B カラーユニバーサルデザイン

▶ 地図やグラフの色づかいを全面的に見直し、**色覚特性のある生徒にも判別しやすく**しています。

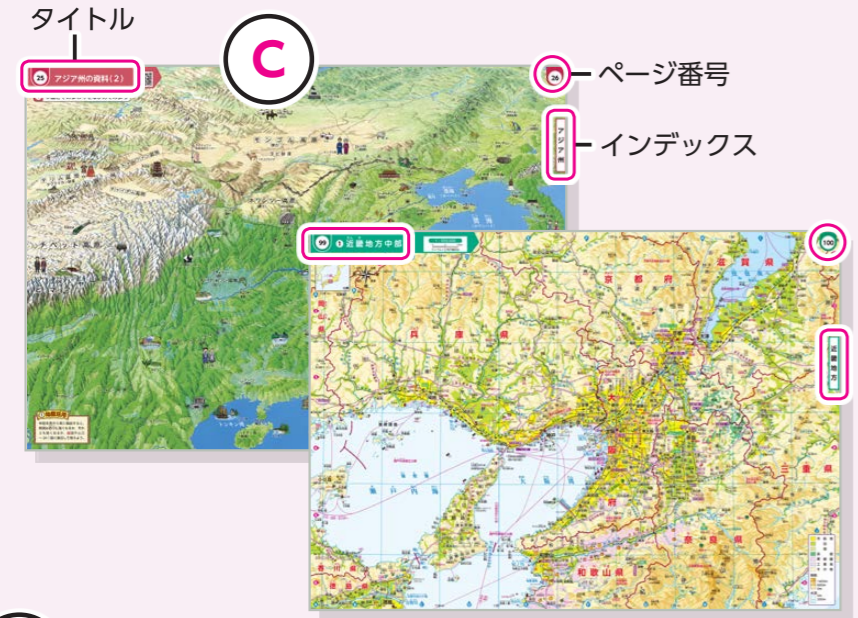
▶ 「田」や「畑」、「果樹園」などには、**色の下に紋様(地紋)**を入れて読み取りやすくしています。

## C レイアウトの統一

▶ タイトルやページ番号、インデックスはそれぞれの位置を原則固定し、**レイアウトの統一**をはかっています。また、確認しやすいように各パーツのデザインも大きくしています。

## D 手話による地名の表現

▶ 聴覚障がいの生徒や**インクルーシブ教育**などに配慮し、**地名を手話で表すコーナー**を設置しています。



▶ 新版地図帳では、**従来よりも軽くて丈夫な用紙**を開発・採用しています。



## 軽くて丈夫な新用紙

▶ 地図帳のサイズが大きくなっても、生徒の身体への負担にならないように、**軽くて丈夫な地図帳専用の新用紙**を採用しています。

▶ 3年間の使用にも耐えられる**堅牢な製本仕様**になっています。

## 判型・ページ数・重さの新旧比較

	判型	ページ数	A4サイズに置き換えたページ数	総重量 (g)
現行版	AB判	176	155	約480
新版	A4判	188	188	約505

※面積比で実質33ページ増にもかかわらず、重さはほとんど変わりません！

## サポート

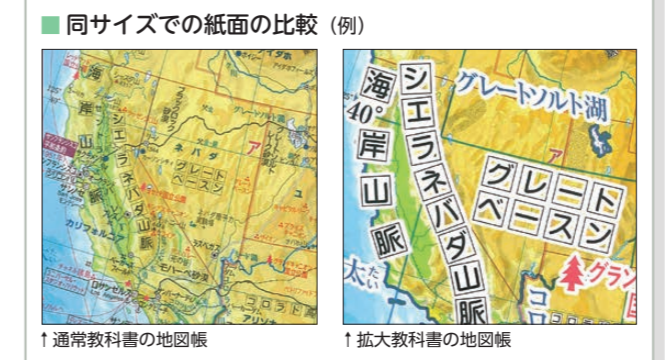
### 特別支援教育のための教科書と地図帳

『**拡大教科書**』【無償給与対象】

▶ 中学校用教科書の**拡大教科書**を発行しています。要素を分けて地名を大きく目立たせ、レイアウトを見やすく改善しています。

■ ページ数の比較 (平成28年度版中学校用地図帳の場合)

通常教科書の地図帳	拡大教科書の地図帳(3分冊)
全176ページ	全892ページ(①344ページ+②282ページ+③266ページ)



『**拡大教科書**』  
のご案内

『**みんなの地図帳**』  
～見やすい・使いやすい～【有料】

▶ 記載内容を大幅に精選し、文字の置き方や大きさ、色づかいなど、見やすくなる工夫を凝らしています。定価 本体2,000円(税別)

日本視覚障害社会科教育研究会編集、帝国書院発行



『**みんなの地図帳**』  
～見やすい・使いやすい～  
のご案内

# 地図帳指導のサポート

## ① デジタル教科書・教材



動作が速く、多彩な機能・コンテンツを収録した  
新ビューア「超教科書」を採用しています。

スムーズに動く  
新ビューア！

### 帝国書院のデジタル教科書・教材ラインナップ【有料】

#### ① 指導者用 デジタル教科書(教材)

- ▶ デジタル教科書とデジタル教材(コンテンツ)の一体型。
- ▶ 拡大・縮小や書き消し、保存などの基本機能は標準装備。
- ▶ 下記のコンテンツを収録。

#### ② 学習者用デジタル教科書 ・教材セット

- ▶ デジタル教科書とデジタル教材(コンテンツ)の一体型。
- ▶ 拡大・縮小や書き消し、保存などの基本機能は標準装備。
- ▶ 下記のコンテンツを収録。

#### ③ 学習者用 デジタル教科書

- ▶ 紙の教科書と同一の内容を収録。
- ▶ 拡大・縮小や書き消し、保存などの基本機能は標準装備。
- ▶ ※特別支援教育対応機能は未収録。下記のコンテンツは未収録。

※①と②の内容は同じです。使用者やライセンス範囲が異なります。

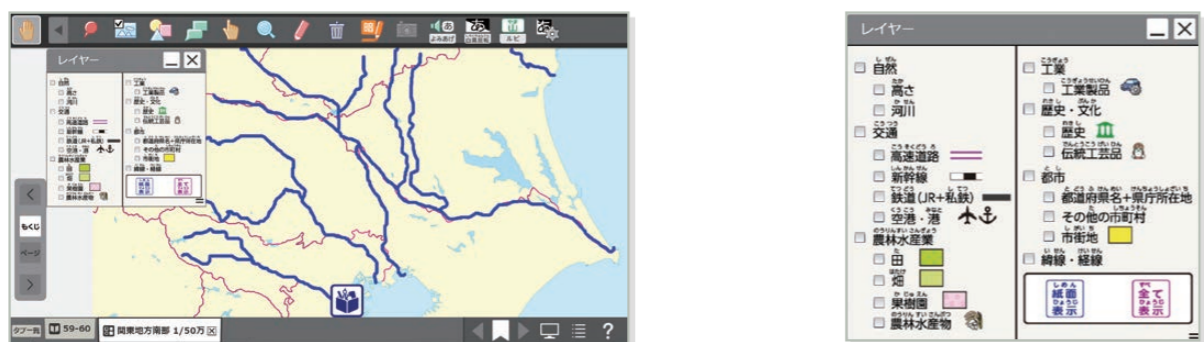
コンテンツ  
紹介

※画面はイメージです。一部内容が変わる場合があります。

## おもなコンテンツ

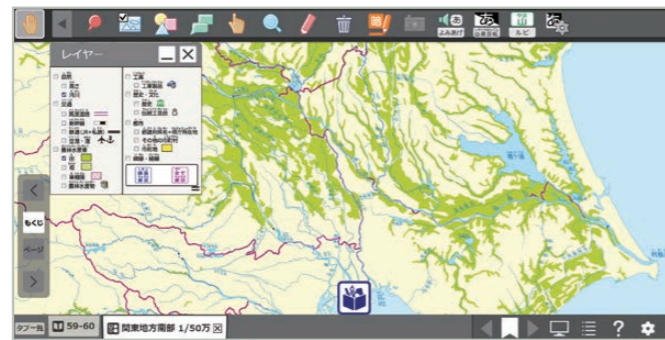
### レイヤー切り替え

▶ 自然や交通、産業、地名など、特定の要素を選んで表示できます。表示要素を絞り込んだり、複数の要素を組み合わせたりすることで、相互の関係性が捉えやすくなります。



白地図に切り替えて自由に書き込めます。

たとえば「河川」と「田」の両方を表示させると、河川に沿って田が広がっていることがわかります。



表示要素

Webサイト上で体験できます！

Web体験版はこちら  
【中学校 社会科Webへ】

※地理的分野や歴史的分野、公的分野の各デジタル教科書と併せて体験ができます。

### 距離計測・面積比較

▶ 地図上で距離計測や面積比較ができるため、大きさや距離感といった地理的な感覚が身に付きます。



任意の地点を中心に同心円の距離が測れます。また、任意の場所の距離を最大10区間まで測れます。さらに、計測した距離を時速30km、80kmで移動した場合の時間もわかります。

※計測した距離を、「飛脚」の速度で移動した時間にも変換できます。



右図のようにすべての都道府県を自由に動かせるため、他県と面積を比較できます。各県の大きさをイメージしやすくなります。

### 統計コンテンツ

▶ 世界・日本の統計を項目別に収録しています。

世界の統計

項目	数値
人口	75億
GDP	100兆円
CO2排出量	35億トン

上は世界の統計の例です。

日本の統計

項目	数値
人口	1億2,500万人
GDP	500兆円
CO2排出量	15億トン

項目別の統計は数値を並び替えられるため、上位国がひと目でわかります。



統計地図を表示することで、各項目の傾向が見えてきます。

### そのほかの機能・コンテンツ

- 拡大縮小
  - デジタル地球儀
  - アニメーション
  - 雨温図コンテンツ
- など

「デジタル教材以外も！」

掛地図や地球儀などのサポート教材はこちら  
【中学校 社会科Webへ】

# 地図帳指導のサポート

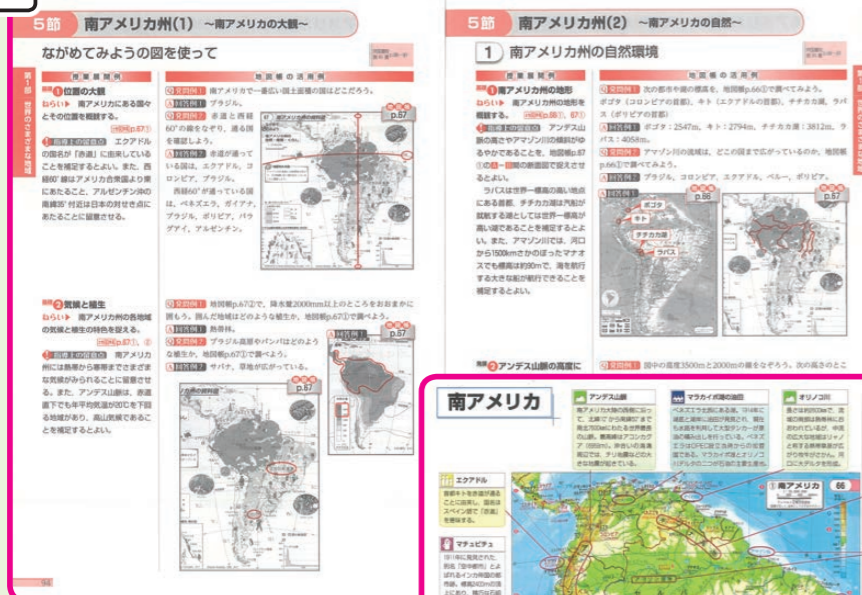
## ② 教師用指導書・指導者専用サイト・定期刊行冊子など

充実したさまざまなサポートを用意しています。

### 教師用指導書【有料】(令和3年3月発行予定)

お授業での地図帳活用をサポートします。

1



活用編のイメージ  
(画像は平成28年度版)

### 教師用指導書のご案内

(令和2年5月頃公開予定)



### 指導書の内容

- 1 活用編 (スタートアップ編含む)
- 2 ワンポイント解説編
- 3 Webサポート

※一部内容が変わる場合があります。

2



ワンポイント解説編のイメージ (画像は平成28年度版)

### ポイント

- 1 「活用編」は社会科の単元に対応し、地図帳を使った指導例を掲載する予定です。
- 2 「ワンポイント解説編」は授業で使えるネタが満載です。もう一歩踏み込んだ地図帳活用の参考になります。
- 3 「Webサポート」は白地図データや資料図版などを収録する予定です。従来のCD-ROMからWeb上でのサービスに切り替える予定です。

※Webサポートへの認証IDは、ご購入いただいた教師用指導書内にて提示する予定です。

### 指導者専用サイトの ご案内



### 指導者専用サイト(学校の先生方限定)【無料】

無料でご利用いただける登録制の「指導者専用サイト」を開設しています。ダウンロードして活用できるワークシートなど、さまざまなコンテンツを多数収録しています。情報は随時更新していきます。

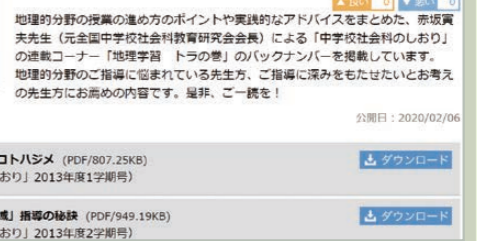


### ポイント

小学校や中学校などの学校種の枠を超えて、社会科に関するあらゆる情報が入っています。

### おもな収録コンテンツ

- 地理学習 トラの巻  
※指導のポイント提示
- 「中学校 社会科のしおり」授業研究コーナー対応ワークシート
- プレミアム写真館  
※動画もあり
- 白地図
- 最新統計 など

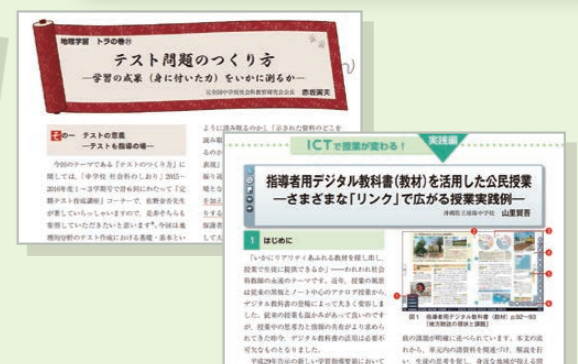


### 定期刊行冊子のご案内



### 定期刊行冊子(「中学校 社会科のしおり」)【無料】

中学校の先生方を対象にした、定期刊行冊子『中学校 社会科のしおり』を発行しています。地図帳活用のほか、社会科の学習における授業実践例や、学習指導要領などに関する社会科教育の情報を掲載しています。



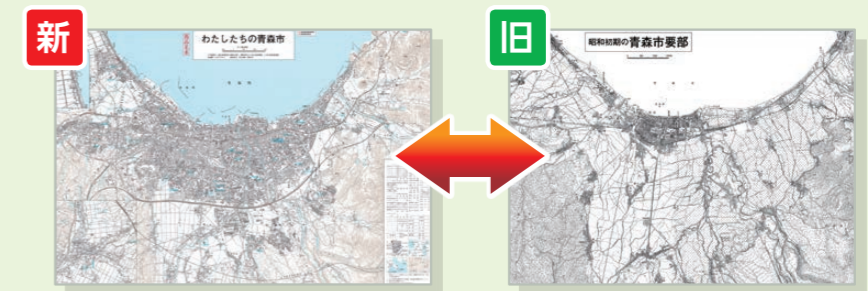
サポート

### 地域版地図のご案内



### 地域版地図【有料】

教育委員会などからの委託を受けて作成する、オーダーメイドの地図です。新旧比較の地図や、林間学校の訪問先を入れた地図などに、カスタマイズできます。



例：青森市での新旧地形図の比較

# 『中学校社会科地図』の特色一覧

## ① 教育基本法との対応

下表のデータは  
こちら  
[Excelデータ]



教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	※(青字)は教科書のページ
<b>第1号</b> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求め、態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本・世界の自然、産業、歴史など、さまざまな情報を地図上に掲載し、<b>空間認識をともなった幅広い知識や教養が身に付く</b>ようにした。さらに、等高線で色分けされた表現にしたり、土地利用表現にしたりすることにより、土地の高さや各地の人々の生活や産業のようすを読み取れるように配慮した。(本書全体)</li> <li>●小学校の復習を含めて、地図帳を活用するための方法や、地形図を読み取るための具体的な手順を示すことで、地図帳活用の技能や、地形図の読図力を身に付けられるように配慮した。(p.4-8)</li> <li>●世界の6州すべてに大きな鳥瞰図を設け、興味・関心をもって世界のそれぞれの州の学習に入れるように配慮した。(p.25-26,43,49-50,61-62,68,75-76)</li> <li>●世界の各州の資料では、同縮尺の図を複数用意し、各図の要素を比較したり、重ね合わせたりしながら、学習を深められるように配慮した。(p.22,27-28など)</li> <li>●日本の各地方の冒頭の資料では、地理的分野の中核となる事象である自然、人口、産業(農業・工業)、交通を示した資料図を同縮尺で掲載し、それぞれの分布や傾向性、事象間の関係性などを考案できるようにした。(p.127-128など)</li> <li>●日本の資料では、訪日外国人やオリンピック・パラリンピックについてなど、新しい視点の資料を盛り込むことで、地域の変化を捉えられるようにした。(p.116⑥,129③,144⑨,161など)</li> </ul>	
<b>第2号</b> 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●丈夫でありながら、A4サイズ換算で1ページあたりの重さが<b>現行版よりも約15%も軽い専用紙</b>を採用し、持ち運びの際に<b>生徒の負担にならないように</b>配慮した。</li> <li>●色覚特性のある生徒にも地図や資料が読み取りやすいように、<b>ユニバーサルデザインフォント</b>を使用し、さらに地図ページ中の国名・都道府県名などの<b>重要地名には、白色で縁取り</b>をした。また、国や都道府県ごとに塗り分ける色はカラーユニバーサルデザインに配慮し、色数が多くなる場合には<b>背景に地紋を入れる</b>など色の識別がしやすくなるようにした。(本書全体)</li> <li>●問い「<b>地図活用</b>」(計94か所、全131問)を設置し、<b>生徒が主体的に地図を読み取る力を身に付けられるように</b>配慮した。(p.6,9など)</li> <li>●<b>二次元コード</b>(計38か所、全111コンテンツ)を設置し、授業以外においても、<b>生徒自ら活用できるように</b>配慮した。(p.5-6など)</li> <li>●<b>インクルーシブ教育に</b>配慮し、都道府県名などを手話で表す「手話で表してみよう」を設置した。(p.186③)</li> </ul>	
<b>第3号</b> 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「各国語のあいさつの例」に掲載した生徒のキャラクターは、男女の比率がほぼ等しくなるようにした。(p.17-18)</li> <li>●日本の政治・経済に関心をもち、公民的分野でも活用できるように、「霞が関」の地図を掲載した。(p.126③)</li> <li>●少子化・高齢化や資源・エネルギー問題など、<b>現在の社会が直面する課題についての資料を掲載</b>し、社会の一員として、公共の精神や、社会の参画に対しての意識を高められるようにした。(p.151-154など)</li> </ul>	

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	※(青字)は教科書のページ
<b>第4号</b> 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「世界自然遺産」「ラムサール条約登録湿地」「貴重な動物・植物」「天然記念物」「世界ジオパーク」の記号を地図中に記載し、守るべき自然環境への関心を高められるようにした。(本書全体)</li> <li>●環境問題に関わる特設ページを設け、世界の環境問題の現状、原因、対策を取り上げ、環境問題や<b>持続可能な開発目標(SDGs)</b>への関心を高められるようにした。(p.13-14など)</li> <li>●世界や日本の環境に関する資料を随所に取り上げ、環境への関心を高められるようにした。(p.28⑩,105⑥⑦など)</li> <li>●<b>日本の地方ごとに自然災害と防災に関する資料を掲載</b>し、多様な災害と対策・防災を理解できるようにした。(p.88⑫,96⑨,132⑫など)</li> <li>●日本の地形や世界自然遺産、国立公園、ジオパークなどの分布がわかる特設ページを設けて、日本の自然環境についての理解が深まるようにした。(p.145-146)</li> <li>●<b>日本全体の災害と防災に関するページを掲載</b>し、災害の種類や分布を理解するだけでなく、地形図やハザードマップの見方を身に付けることで、地域社会の一員として防災への意識を高められるようにした。(p.149-150)</li> </ul>	
<b>第5号</b> 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の時差が端的にわかるような工夫を施したり、日本中心だけでなくヨーロッパ中心の地図を配したり、大陸側から日本を眺めた鳥瞰図を設置したりすることで、<b>多面的・多角的に世界を見る視点が養える</b>ようにした。(p.1-3,31-32など)</li> <li>●世界の宗教や料理など、世界の文化を紹介する資料を掲載し、他国の文化への理解が深まるようにした。(p.15-18)</li> <li>●多文化共生の視点からすべての国の国旗を掲載し、国旗への関心が高められるようにした。(p.23-73)</li> <li>●世界各地と日本とのつながりを示した資料「<b>日本との結びつき</b>」(全11か所)を設置し、国際社会に関心をもてるように配慮した。(p.28⑪,31⑫,36⑦,39,40,44,52,54,64,70⑦,76)</li> <li>●各地に根付いた伝統的工芸品や、日本国内の世界文化遺産を記載し、日本の伝統と文化への関心が高まるようにした。(p.77-142)</li> <li>●日本の歴史遺産や各地に伝わる伝統・文化に関する資料図を設けた。(p.162-164)</li> <li>●北方領土、竹島、尖閣諸島について、写真付きで取り上げて、<b>我が国固有の領土であることを明記</b>し、国土の正しい理解がはかれるようにした。(p.77-82,89③,142①②③,187-188)</li> <li>●日本の領土や排他的経済水域を見開きで大きく掲載した。また、東西南北端の島については写真と地図を併用してわかりやすく示した。(p.187-188)</li> <li>●平和学習で活用できるように、長崎市の鳥瞰図と広島市の都市図を掲載した。(p.88⑨,89②)</li> </ul>	



# 『中学校社会科地図』の特色一覧

## ② 検討の観点から見た内容の特色

下表のデータは  
こちら  
[Excelデータ]



観点	観点の内容	本書の特色 ※(青字)は教科書のページ
教育基本法との対応	教育基本法との対応が十分にはかかれているか。	●教育基本法第1条の目標および教育基本法第2条第1～5号に示された内容について、 <b>社会科の目標や学習内容に沿った指導を効果的に行うことができる</b> ように構成されている。(詳細は本資料p.45-46「教育基本法との対応」を参照)。
学習指導要領との対応	学習指導要領の目標・内容の趣旨に沿ったものであるか。	●基本的に地理的分野の学習指導要領の目標・内容に沿っており、かつ <b>歴史的分野・公民的分野の学習でも活用できる内容</b> となっている。(詳細は本資料p.50「学習指導要領の項目に沿った編集上の特色」を参照)
内容の配列・分量・程度	全体の分量は、年間標準時数から見て適切か。各単元の配当時数は適切か、系統性が考慮されているか。	●地理的分野の学習にあわせて、世界は州別に、日本は地方ごとに構成されている。 <b>資料は、地域の特色が適切に理解できる題材が選定</b> されている。また、表現も平面の地図表現に加え、 <b>鳥瞰表現が多用され、内容が焦点化</b> されて理解しやすくなっている。(p.25-28など) ●世界の各州の特色を具体的に読み取れるように、原則として「一般図」→「鳥瞰図(ながめてみよう)」→「資料図」という配列で構成されている。日本の地方は、原則として「一般図(地方別地図)」→「一般図(拡大図)」→「資料図」という配列で構成されている。(p.23-28,83-88など) ●世界の一般図は世界全州、日本の一般図は日本の全地方を網羅し、各州・各地方の特色を具体的に読み取れる資料が掲載されている。
	内容の程度・範囲および文章は、生徒の発達段階から見て適切か。	●地図中の <b>地名の漢字には、すべてふりがなが付され、正しく読めるよう</b> 配慮されている。 ●学習上重要な「国名」「首都名」には欧文が併記され、 <b>国際化・英語科への対応</b> ができています。 ●「国名」や「首都名」、「都道府県名」や「都道府県庁所在地」など、学習上重要な地名は大きく太い文字で記載され、他の地名よりも目立つように配慮されている。 ●日本の一般図の記載要素のうち、産物や環境に関するものは絵記号が用いられ、読み取りやすく表されている。(p.83-84など)
	学習を効果的かつ効率的に進めるための工夫がなされているか。	●世界の各州には、自然環境や生活・文化、産業などの <b>イラストを配した鳥瞰図(全6か所)</b> があり、 <b>地域の特色が視覚的に捉えられ、大観</b> できるように工夫がなされている。(p.25-26など) ●日本の一般図(地方別地図)は、九州、中国、四国、近畿、中部、関東、東北、北海道の8地方に区分され、各地方のようすが読み取れる。また、100万分の1の縮尺で統一されている。 ● <b>大判化(A4判)の利点を生かし、地域の結びつきをより重視した図取り</b> となるように配慮されている。(p.99-100など) ●原則、紙面の左上にタイトル、左右上にページ番号、右端にインデックスが配置されるように、 <b>レイアウトの統一(構造化)</b> がなされていて、生徒が探しやすいように配慮されている。 ●開いているページの地域が、世界・日本の中でどのあたりに位置するかが一目でわかるように、原則として地図ページには <b>位置図が掲載</b> されている。
	課題解決的な学習を行うための構成・工夫がなされているか。	● <b>問い「地図活用」(計94か所、全131問)が設置</b> されている。地図の読み取りなどの地理的スキルが身に付くだけでなく、「 <b>社会的な見方・考え方を働かせた学習に活用</b> できる。(p.6,9など) ●巻頭と巻末の資料図では、紙面のタイトルわきに「学習課題」を設け、そのページで扱うテーマを追究する際の着眼点を示している。(p.13-18,p.145-164)
	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための構成・工夫がなされているか。	●世界の各州には、自然環境や生活・文化、産業などの <b>イラストを配した鳥瞰図(全6か所)</b> があり、 <b>地域の特色を視覚的に捉えられる工夫</b> がなされている。(p.25-26など) ● <b>「二次元コード」(計38か所、全111コンテンツ)が設置</b> されている。NHK for School(動画)、世界・州別衛星画像、日本の基礎主題図など、 <b>生徒が主体的に学習し、資料活用能力を高められるコンテンツが多数収録</b> されている。(p.5-6など) ● <b>問い「地図活用」(計94か所、全131問)が設置</b> されている。地図の読み取りなどの地理的スキルが身に付くだけでなく、「 <b>社会的な見方・考え方を働かせた学習に活用</b> できる。(p.6,9など) ●巻頭と巻末の資料図では、紙面のタイトルわきに「学習課題」を設け、そのページで扱うテーマを追究する際の着眼点を示している。(p.13-18,145-164)
内容的扱い/学習活動	基礎的・基本的な「知識および技能」を確実に習得するための工夫がなされているか。	●地図帳の構成や、方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、 <b>地図帳の基本的な見方・使い方がわかりやすく解説</b> された「 <b>地図帳の使い方</b> 」が巻頭で <b>5ページにわたって</b> 設けられている。(p.4-8) ●実際の地形図を取り上げ、作業を通して地形図の見方が身に付けられるコーナーが設けられている。(p.8) ● <b>要所に配された問い「地図活用」(計94か所、全131問)から、地図の読み取りなどの地理的スキルが身に付く。</b> (p.6,9など)

観点	観点の内容	本書の特色 ※(青字)は教科書のページ
内容的扱い/学習活動	深い学びを実現させるための「思考力・判断力・表現力等」を育成するような配慮がなされているか。	● <b>要所に配された問い「地図活用」(計94か所、全131問)は、「社会的な見方・考え方」の視点に着目して作成</b> されている。こうした「見方・考え方」の視点を働かせることで、「 <b>思考力・判断力・表現力</b> 」の育成につながる工夫がなされている。(p.6,9など) ●資料図は、 <b>比較を通して地域の特色が考察</b> できるように、自然や人口などの主要素については <b>縮尺が統一</b> されている。(p.27-28,87①③④⑤など) ●世界地図には、世界の国々と日本の大きさ比べや、緯度や経度による位置関係の比較ができるように、随所に同緯度・同経度・同縮尺の日本地図が掲載されている。 ●巻末の世界の統計資料は、州別、項目別に色分けがなされ、上位国の数値は赤字、下位国の数値は青字で示されているなど、数値的に各国の特色や差異を捉えやすいように配慮されている。(p.167-169) ●巻末の日本の統計資料は、地方別、項目別に色分けがなされ、上位県の数値が赤字で示されているなど数値的に地域の特色や差異を捉えやすいように配慮されている。また、 <b>県別統計資料には地方別合計欄</b> があり、地方どうしの比較が容易に説明できるように配慮されている。(p.171-172)
	「思考力・判断力・表現力等」の育成につながる <b>社会的な見方や考え方を働かせる</b> ための配慮がなされているか。	● <b>要所に配された問い「地図活用」(計94か所、全131問)は、「社会的な見方・考え方」の視点に基づいて作成</b> されている。(p.6,9など)
	生徒の興味・関心を喚起させ、「主体的に学習に取り組む態度」を育成するような配慮がなされているか。	●世界の各州には、自然環境や生活・文化、産業などの <b>イラストを配した鳥瞰図(全6か所)</b> があり、 <b>地域の特色を視覚的に捉えられる工夫</b> がなされている。(p.25-26など) ● <b>「二次元コード」(計38か所、全111コンテンツ)が設置</b> されている。NHK for School(動画)、世界・州別衛星画像、日本の基礎主題図など、 <b>生徒が主体的に学習し、資料活用能力を高められるコンテンツが多数収録</b> されている。(p.5-6など) ●随所に <b>修学旅行や校外学習で活用できる資料が掲載</b> され、主体的に地図帳を活用できるように配慮されている。(p.103-104など)
	小学校との接続や小・中一貫教育への配慮がなされているか。	●小学校で身に付けた技能を発展させた「 <b>地図帳の使い方</b> 」が設置されている。(p.4-8) ●二次元コード内に、小学校で学習した方位、地図記号、距離などの基礎的な知識を確認することができるコンテンツ「 <b>小学校の復習をしよう</b> 」が収録されている。
	他分野との接続や関連への配慮がなされているか。	●地理的分野だけでなく、 <b>歴史的分野、公民的分野でも幅広く活用</b> できるような資料が盛り込まれている。(詳細は本資料p.50「学習指導要領の項目に沿った編集上の特色」を参照)
	我が国の伝統・文化、宗教に対する理解を深められるような配慮がなされているか。	●日本の一般図では、 <b>各地方の伝統文化に関する絵記号が多数掲載</b> され、伝統・文化の継承と発展について考えられるように配慮されている。 ●日本の伝統・文化の例として、「 <b>伝統的な町並みの保存</b> 」、「 <b>地域による方言の違い</b> 」、「 <b>各地方の特色のある祭り・行事</b> 」、「 <b>日本の伝統的な料理</b> 」など、 <b>伝統・文化に関する地図や写真が豊富に掲載</b> されている。(p.163-164)
	我が国の領土・領域を正しく理解できるような配慮がなされているか。	●東西南北端を含めた我が国の領土や、我が国の広大な排他的経済水域を捉えられる地図や、 <b>領土・領海・領空・接続水域などの概念が端的に理解できる模式図が掲載</b> されている。また、この図には正式国名が用いられている(例：日本国)。(p.187-188) ● <b>我が国固有の領土である北方領土・竹島・尖閣諸島が写真付きで解説</b> されている。(p.78,80-82)
	補充的な学習や発展的な学習に対しての工夫・配慮がなされているか。	●資料は、 <b>地域の特色が適切に理解できる題材が選定</b> されている。そのため、教科書で取り扱われる内容をより深められる。(p.27-28,87-88など) ●社会科の学習のみならず、 <b>修学旅行や校外学習でも活用</b> できる資料や都市図が多数掲載されている。(詳細は本資料p.31-32を参照)
	生徒が家庭でも主体的に <b>自学自習</b> できるような配慮がなされているか。	●地図帳の構成や、方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、 <b>地図帳の基本的な見方・使い方が巻頭の「地図帳の使い方」で5ページにわたってわかりやすく解説</b> されているため、自学自習の際の指針となる。(p.4-8) ●家庭学習でも地図帳を主体的に活用できるように、「 <b>二次元コード</b> 」(計38か所、全111コンテンツ)が設置されている。(p.5-6など) ● <b>要所に配された問い「地図活用」(計94か所、全131問)は、地図帳を主体的に活用</b> できるような内容となっている。(p.6,9など) ●A4サイズ換算で1ページあたりの重さが <b>現行版より約15%も軽い専用用紙</b> を採用し、かつ <b>堅牢な製本様式</b> が用いられている。(詳細は本資料p.40を参照)
	今日的な課題への対応	環境教育に関して、どのような配慮がなされているか。
防災に関して、どのような配慮がなされているか。		●日本の各地域資料図には、「 <b>防災</b> 」マークが付いた資料図が <b>多数掲載</b> されている。 ● <b>防災対策に留まらず、復旧・復興の視点も取り上げ</b> ている。(p.132②) ●「日本の自然災害・防災」の特設ページが設けられ、 <b>日本で起こり得る災害と、それらへの対策が理解</b> できるように工夫されている。また、 <b>ハザードマップと地形図の比較</b> から、防災における地図の有用性を理解できるように工夫されている。(p.149-150)

特色一覧

# 『中学校社会科地図』の特色一覧

## ③ 学習指導要領の項目に沿った編集上の特色

下表のデータは  
こちら  
【Excelデータ】



観点	観点の内容	本書の特色 ※(青字)は教科書のページ
今日的な課題への対応	人権・平和教育の推進のために、どのような配慮がなされているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本・世界の諸地域の多様な姿を通して、各地にはさまざまな立場や考え方があることを認識し、多様な価値観や文化に対する理解と寛容な態度を育めるように配慮されている。</li> <li>●「各国語のあいさつの例」に掲載した生徒のキャラクターは、男女の比率がほぼ等しくなるように配慮されている。(p.17-18)</li> <li>●「さまざまな言語(公用語)」、「さまざまな宗教」、「開拓の歴史とアイヌ語地名」など人権の学習に資する資料が掲載されている。(p.17-18①②,137②など)</li> <li>●平和教育で活用できるように、長崎市の鳥瞰図と広島市の都市図が掲載されている。(p.88⑨, 89②)</li> </ul>
	グローバル化に関して、どのような配慮がなされているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界各地と日本の経済的な結びつきがわかる資料「日本との結びつき(全11か所)」が掲載されており、現在や将来の社会が直面する課題や持続可能な社会について考えられるように工夫されている。(p.28⑩,31②など)</li> </ul>
	少子高齢化に関して、どのような配慮がなされているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●少子高齢化の社会的背景や影響について考察できる資料図が掲載されている。(p.151③,p.152⑤⑦⑧⑨,171-172など)</li> </ul>
	情報化に関して、どのような配慮がなされているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報通信技術の発展の現状を捉えられる資料が掲載されている。(p.159③など)</li> </ul>
	「持続可能な開発目標」(SDGs)に関して、どのような配慮がなされているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●持続可能な社会を実現するために、世界でどのような取り組みが行われているのかを捉えられる資料が掲載されている。(p.13-14など)</li> <li>●環境を中心に、持続可能な開発目標(SDGs)の観点に基づいた資料が豊富に掲載されている。(p.28⑩,35③など)</li> </ul>
表記・表現	統計、挿絵、写真、図表等は鮮明、正確かつ適切であり、相互の関連がはかられるなど学習効果を高めるための工夫がなされているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒の興味・関心を高め、地域の姿をより具体的にイメージできるように、鳥瞰図が多数掲載されている。(p.25-26など)</li> <li>●世界の地図表現は黄緑色(ワサ色)と茶色で、高さごとに色分けした等高段彩表現を用い、土地の起伏感が捉えられるように工夫されている。(p.23-24など)</li> <li>●日本の地図表現は、国土理解につながるように、地域の生活や産業のようすがわかる土地利用表現と、地形がわかる等高段彩表現を併用した地図表現になっている。(p.99-100など)</li> <li>●世界・日本ともに地形が捉えやすいように、等高段彩表現にレリーフ(陰影)表現を合わせた立体感ある地図表現になっている。</li> <li>●資料図は、比較を通して地域の特色が考察できるように、自然や人口などの主要素については縮尺が統一されている。(p.27-28,127-128など)</li> <li>●世界地図には、世界の国々と日本の大きさや、緯度・経度による位置関係の比較ができるように、随所に同緯度・同経度・同縮尺の日本地図が掲載されている。(p.73-74など)</li> </ul>
	特別支援教育やインクルーシブ教育に対して適切な配慮がなされているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地図帳全体にわたって、可読性の高いユニバーサルデザイン(UD)フォントが使用されている。そのなかでも、とくに読みやすい丸ゴシック系が多用されている。</li> <li>●重要な国名や主要都市名など、地名には白色系の縁取りを付けて、読みやすくなっている。</li> <li>●色覚特性のある生徒でも地図やグラフが読み取りやすいように、カラーユニバーサルデザインに対応した色彩表現となっている。</li> <li>●「田」や「果樹園」などの土地利用表現の色の下に模様(地紋)が入っており、色の違いを判別しやすくしている。また、陸高の違いを読み取りやすいように、うす緑色で等高線が加えられている。</li> <li>●地図タイトルやページ番号、インデックスは位置を原則固定し、レイアウトの統一(構造化)がはかられている。</li> <li>●「地名を手話で表す」コーナーが設けられ、聴覚障がいのある生徒やインクルーシブ教育などに配慮されている。</li> <li>●読み取りやすくなるように、反射を抑えた紙が用いられている。</li> </ul>
印刷・装丁等	紙質や印刷の鮮明さなど、生徒の利便性に配慮がなされているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●印刷は鮮明で、図・写真ともに細かな文字まで読み取りやすくなっている。</li> <li>●地図を美しく読み取りやすくするため、通常の4色印刷に黄緑色(ワサ色)のインキを加えた5色刷りで印刷されている。</li> <li>●地図・写真が美しく鮮明になるように、反射を抑えつつ、裏写りしない紙が使用されている。</li> <li>●生徒の身体への負担に配慮するために、A4サイズ換算で1ページあたりの重さが現行版より約15%も軽い専用紙が採用されている。(詳細は本資料p.40を参照)</li> </ul>
	造本は3年間の使用に耐えられるように配慮がなされているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●表紙の材料は引っ張り、折りなどに強い用紙が使用されている。さらに、表面の摩耗・汚れを防ぐためにポリプロピレンシートが貼られており、長期間の使用に耐えられる。</li> <li>●製本は、ページの落丁を防ぐために、糸かがりの方法が用いられるとともに、背に「寒冷紗」を巻いて強化し、3年間の使用に耐える丈夫な製本仕様になっている。また、PUR製本により重量が軽く、本が大きく開くように工夫されている。</li> <li>●折り込みページの折り目部分がコーティングで補強され、折り込みページが切れ落ちることのないように配慮されている。</li> </ul>
	用紙・インキ等は、環境への配慮がなされているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●古紙および環境にやさしいフレッシュパルプが用いられている。また、植物油インキが使用され、環境保全に配慮されている。</li> <li>●針金を使わないPUR製本により、資源を節約すると同時に、リサイクルしやすくなっている。</li> </ul>
サポート	デジタル教科書・教材や教師用指導書などのサポート体制はどのようになっているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習者用デジタル教科書・教材、指導者用デジタル教科書(教材)、教師用指導書、拡大教科書などが令和3年4月までに発刊される予定となっている。</li> </ul>

	学習指導要領の内容	構成・内容の特色 ※(青字)は教科書のページ
地理的分野	地理的分野全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大判化(A4判)によるダイナミックな紙面により、地域間の結びつきがより捉えやすくなっている。(全体)</li> <li>●充実した世界の地図、資料図から、世界に関する地理的認識が深められる。また、さまざまな地域の事象を示した日本の地図、資料図から、国土理解が深まり、地域的特色が動的に捉えられる。(全体)</li> <li>●地図帳の使い方、地形図の読み方が身に付けられる。(p.5-8)</li> <li>●要所に記された問い「地図活用」(計94か所、全131問)から、地図の読み取りなどの地理的技能が習得できる。これらの問いは、「社会的な見方・考え方」の視点に基づいて作成されている。(全体)</li> </ul>
	A 世界と日本の地域構成	
	(1) 地域構成	
	① 世界の地域構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界の大陸や海の分布、国々の位置関係などが大きく掲載され、地球規模で詳細に捉えられる。(p.9-18)</li> <li>●我が国の国土の位置や世界との時差などが大きく掲載され、詳細に捉えられる。(p.1-3)</li> <li>●我が国の国土の位置や領域、地方区分が大きく掲載され、正しく理解できる。(p.187-188など)</li> </ul>
	② 日本の地域構成	
	B 世界の様々な地域	
	(1) 世界各地の人々の生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界各地の人々の生活と環境について具体的にイメージしやすい世界の分布図が豊富に掲載されている。(p.9-18)</li> <li>●各地域に掲載された資料図で、諸地域の生活と環境の特色が理解できる。(p.19-76)</li> </ul>
	(2) 世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界各地の自然環境や文化、産業のようすなどを大観できる鳥瞰図が州ごとに設けられている。(p.25-26など全6か所)</li> <li>●植生と土地利用、気候、言語、宗教、人口、産業、日本との結びつきに関する資料が州ごとに豊富に掲載されている。</li> <li>●世界全体の資料図や統計などの資料から世界の各地域の特色を多面的に捉えられる。(p.151-170)</li> </ul>
	C 日本の様々な地域	
	(1) 地域調査の手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地形図の見方が身に付くコーナーが設けられている。(p.8)</li> <li>●一般図に掲載された「絵記号」で、身近な地域の特色を端的に読み取れる。</li> </ul>
(2) 日本の地域的特色と地域区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界の諸地域の多様性や地域的特色を大観した上で、世界と比べてみた日本の特色の理解に活用できる日本全体の資料図が豊富に掲載されている。(p.9-18,p.151-161)</li> <li>●北方領土・択捉島から与那国島までが入る3ページ大の地図2枚(ともに縮尺400万分の1)によって、途切れることなく日本列島が見わたせる。(p.77-82)</li> </ul>	
(3) 日本の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本各地方の資料ページでは、基本となる自然(地形・気候)や人口、産業に関する資料に加えて、地域の様子が具体的にイメージできる鳥瞰図などが豊富に掲載されている。(p.87-88など)</li> <li>●国土理解につながるように、地域の生活や産業が見える土地利用表現と、土地の高さがわかる等高段彩表現を併用した地図表現となっている。(p.109-110など)</li> <li>●日本の一般図には、生産量や生産額が顕著な農産物や、大きな工場、伝統的工芸品など、地域の特色ある産業をより具体的に捉えられる「絵記号」が多数掲載されている。(p.83-84など)</li> <li>●日本の都道府県や地方について、統計などの資料からその特徴が数値的に捉えられる。また、都道府県別統計資料には地方別合計欄があり、地方どうしの比較ができるように配慮されている。(p.171-172など)</li> </ul>	
(4) 地域の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地形図の見方が身に付くコーナーが設けられている。(p.8)</li> <li>●一般図に掲載された「絵記号」で、身近な地域の特色を端的に読み取れる。(p.83-84など)</li> </ul>	
歴史的分野全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一般図に示された「重要な歴史地名・事項」、「おもな歴史地名・事項」から、歴史の舞台を確認できる。(p.77-144)</li> </ul>	
A 歴史との対話		
(1) 私たちと歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の一般図に掲載された「重要な歴史地名・事項」などから、身近な地域の歴史への関心を高められる。(p.77-144)</li> </ul>	
(2) 身近な地域の歴史		
B 近世までの日本とアジア		
(1) 古代までの日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>●明日香村周辺に残る遺跡などの分布がわかる資料が掲載されている。(p.103④)</li> <li>●京都市や奈良市、斑鳩の寺など歴史遺産の分布がわかる地図が掲載されている。(p.104②⑤⑥など)</li> <li>●大陸から見た鳥瞰図で、古代からの大陸と日本との関わり、文化の影響などが捉えられる。(p.31-32)</li> <li>●鳥瞰図「本州中央部と五街道」では、江戸時代の五街道とその全宿場が掲載されている。産業の発達にともない五街道などで各地が結ばれ、地域の特産品が全国に流通するようすが捉えられる。(p.107-108)</li> <li>●マゼランやコロンブスなど、大航海時代の著名な人物の航路がわかる。(p.66,p.71-72)</li> </ul>	
(2) 中世の日本		
(3) 近世の日本		
C 近現代の日本と世界		
(1) 近代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の製糸業の拠点の一つであった昭和初期の諏訪湖周辺のようすがわかる。(p.116②)</li> <li>●第二次世界大戦中のアジアのようすがわかる。(p.19②)</li> <li>●20世紀のヨーロッパの国境の変遷がわかる。(p.45②)</li> </ul>	
(2) 現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平和教育で活用できるように、長崎市の鳥瞰図と広島市の都市図が掲載されている。(p.88⑨,89②)</li> <li>●現在の民族問題や領土問題に関する資料が掲載されている。(p.44⑤など)</li> <li>●グローバル化によって世界中の交通や経済が結びつくようすがわかる。(p.155①,p.159①ほか)</li> </ul>	
公民的分野全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界全体や諸地域の課題を把握し、国際協調の取り組みの重要性を認識できる。(p.19-76)</li> </ul>	
A 私たちと現代社会		
(1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界中のさまざまな宗教とその分布がわかる資料が掲載されている。(p.17②,p.22④⑤,p.50⑥など)</li> <li>●少子化・高齢化などの人口問題に関する資料が掲載されている。(p.151-152,171-172など)</li> </ul>	
(2) 現代社会を捉える枠組み		
B 私たちと経済		
(1) 市場の動きと経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界各地との経済的な結びつきがわかる資料「日本との結びつき」が掲載されている。(p.28⑩など全11か所)</li> </ul>	
(2) 国民の生活と政府の役割		
C 私たちと政治		
(1) 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大都市におけるマス＝メディアや大使館などの集積がわかる資料が掲載されている。(p.125-126)</li> <li>●日本の政治の中心である、霞が関周辺の官公庁の密集や位置関係がわかる地図が掲載されている。(p.126③)</li> </ul>	
(2) 民主政治と政治参加		
D 私たちと国際社会の諸課題		
(1) 世界平和と人類の福祉の増大	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界の文化や宗教の多様性が理解でき、国際協調について考えることができる。(p.15-18)</li> <li>●環境問題や持続可能な開発目標(SDGs)の観点に基づいた資料が豊富に掲載されている。(p.13-14,28⑩など)</li> <li>●日本の領土・領域がわかる図が掲載されている。(p.187-188など)</li> <li>●紛争が続くイスラエル・パレスチナをはじめ、各地の紛争について考察できる資料が掲載されている。(p.37②③, p44⑤など)</li> <li>●防災に関する地図や資料が随所に掲載されている。(p.88⑩,96⑨,101-102,123-124,149-150など)</li> </ul>	
(2) よりよい社会を目指して		

特色一覧





# 『中学校社会科地図』の全体構成(もくじ)

## 本資料での掲載ページ

世界のページ	世界の国々	1-3	—	中国・四国地方の資料	95-96	→ 17-18
使い方・資料のページ	この地図帳の凡例	4	—	近畿地方	97-98	—
	地図帳の使い方(1)(2)・国土地理院の地形図	5-8	→ 37-38	近畿地方中部	99-100	→ 11-14
	世界の地形/世界の気候	9-12	—	大阪湾周辺の地形	101-102	→ 23-24
	世界の環境問題	13-14	—	大阪市中心部/京都市中心部	103-104	→ 31-32
	世界の生活・文化(1)(2)	15-18	—	近畿地方の資料	105-106	—
	アジア州	19-20	—	本州中央部と五街道	107-108	→ 27-28
世界のページ	アジア州の資料(1)	21-22	—	中部地方	109-110	→ 7-10, 35-36
	東アジア	23-24	—	中部地方南部	111-112	—
	アジア州の資料(2)	25-26	→ 3-4	名古屋市とそのまわり	113	—
	中国の資料	27-28	—	中部地方の資料(1)(2)	114-116	—
	朝鮮半島	29-30	—	福井県・石川県・富山県/新潟県	117-118	—
	東アジアと日本の交流の歴史	31-32	→ 29-30	関東地方	119-120	—
	東南アジア	33-34	—	関東地方南部	121-122	—
	東南アジアの資料	35-36	—	東京都周辺の地形	123-124	→ 19-22
	南・西・中央アジア	37-38	—	東京都の中心部	125-126	→ 27-28
	南アジア・西アジアの資料	39-40	—	関東地方の資料(1)(2)	127-130	→ 33-34
	アフリカ州・アフリカ州の資料(1)(2)	41-44	→ 3-4	東北地方の資料	131-132	→ 17-18
	ヨーロッパ州	45-46	—	東北地方	133-135	—
	ヨーロッパ中央部	47-48	—	北海道地方南部	136-138	—
	ヨーロッパ州の資料(1)(2)(3)	49-53	→ 3-4	北海道地方北部/札幌市とそのまわり	139-140	—
	ロシア連邦とまわりの国々の資料	54	—	北海道地方	141-142	→ 25-26
	ロシア連邦とまわりの国々	55-56	—	北海道地方の資料	143-144	—
	南北アメリカ	57-58	—	日本の地形/日本の気候	145-148	—
	アメリカ合衆国	59-60	—	日本の自然災害・防災	149-150	→ 17-18
	北アメリカ州の資料(1)(2)(3)	61-65	→ 3-4	世界と日本の人口	151-152	—
	大西洋	66	—	世界と日本の鉱産資源	153-154	—
	南アメリカ州	67	—	日本の工業	155-156	—
	南アメリカ州の資料(1)(2)	68-70	→ 3-6	日本の農業・水産業	157-158	—
	太平洋・インド洋	71-72	—	世界と日本の交通・通信	159-160	—
	オーストラリア・ニュージーランド	73-74	—	観光・スポーツ/日本の歴史遺産	161-162	—
オセアニア州の資料	75-76	→ 3-4	日本の生活・文化	163-164	—	
日本のページ	南西諸島/日本列島	77-82	→ 25-26	自然の統計	165-166	—
	九州地方	83-84	—	世界の統計(1)(2)	167-170	→ 33-34
	九州地方北部	85-86	→ 15-16	日本の統計(1)(2)	171-173	→ 29-30
	九州地方の資料	87-88	—	さくいんのページ	174-185	—
	中国地方	89-90	→ 25-26, 31-32	日本のページ	186	—
	四国地方	91-92	—	都道府県と昔の国名	187-188	→ 25-26
瀬戸内海周辺	93-94	—	日本の領土とそのまわりの国々			

# 著作者を代表して

## 大判化で、見やすく、地域を捉えやすい地図帳

奈良教育大学 教授 岩本 廣美

現代はグローバル化が高度に進んでいます。そんな時代だからこそ、自分が生まれ育った地域や国を正しく理解した上で、自身の誇りや生き方を語れる人材が必要なのではないでしょうか。また、新学習指導要領の社会科の目標では「グローバル化する国際社会を主体的に生きる～(抜粋)」ことが求められています。地図帳は、そうした目標や人材育成に欠かすことのできない教材です。今回の改訂においても、今までの良いところは残し、改めるべきところは改めて、これからの時代を生きる中学生の皆さんにとって糧となるような工夫を凝らしています。

まず、**大判化(A4判)**です。紙面が広がることで、従前よりも「地域全体、地域間の結びつき」を捉えられるようにしています。これにより一層、地域の姿・国土の姿が正しく理解できます。なお、生徒の身体への負担にも配慮して、地図帳専用の用紙を開発し、大判化でも軽くなるように仕上がっています。

次に、**防災や領土の資料の充実**です。とくに防災については、近年日本各地で甚大な自然災害が発生していますが、自分の命を自分で守る、地域の人々とともに守るための知識が必要になります。このため、防災の資料をより一層充実させています。

さらに、**資料図の充実**です。これは「調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける」ことにつながります。また、「地理的な見方・考え方」を働かせる問い「地図活用」や、学習を支援する「二次元コード」を新たに設置しています。こうした工夫は、「生きて働く知識・技能」、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」の育成に結びつき、人生に必要な「生きる力」の涵養につながると考えています。

そして、**見やすさの追究**も行っています。文字は丸みがあり見やすいユニバーサルデザインフォントの全面使用、地図やグラフは色覚特性に配慮した色づかい、これまで培ってきた美しい5色印刷の踏襲、レイアウトの統一などを実施しています。

これらの工夫を凝らした新版『中学校社会科地図』を手にとった中学生の皆さんが、日本と世界への理解を深め、よりよい社会の形成に向けて自ら考え行動する人材に育っていくことを、私たちは強く願っています。

帝国書院の  
教科書づくりへの想い

【動画 2分34秒】



## 本書の著作関係者

※所属・肩書きは令和2(2020)年3月時点のもの

### 監修者

金坂 清則 京都大学名誉教授

### 別記著作者

荒井 良雄 東京大学名誉教授

岩本 廣美 奈良教育大学教授

梶田 真 東京大学准教授

小原 文明 法政大学准教授

澤田 康徳 東京学芸大学准教授

須貝 俊彦 東京大学教授

田部 俊充 日本女子大学教授

寺本 潔 玉川大学教授

太田 弘 慶應義塾普通部元教諭

岡本 利 香川県高松市立紫雲中学校教諭

佐藤 洋 東京都立桜修館中等教育学校主幹教諭

### 編集協力者

井寄 芳春 大阪府大阪市立横堤中学校校長

須藤 由子 東北生活文化大学高等学校教諭

立石 昌文 福岡県公立中学校元教諭

戸田 佳孝 愛知県名古屋市立鎌倉台中学校校長

### 特別支援教育に関する監修・校閲者

柏倉 秀克 桜花学園大学教授

青松 利明 筑波大学附属視覚特別支援学校教諭

丹治 達義 筑波大学附属視覚特別支援学校教諭